

名探偵はご機嫌ナナメ

◎登場人物

平井 壮二（ひらい そうじ）・・・35歳。平井探偵事務所を開業。浮気調査と猫探しのプロ。

平井 真弓（ひらい まゆみ）・・・34歳。壮二の妻。経理担当。元々凄腕の医者だったが、今は壮二のサポートに徹している。壮二とは小中が同じの幼馴染み。

小林 芳香（こばやし よしか）・・・25歳。平井探偵事務所の助手。3ヶ月前に雇われた。

桂 光秀（かづら みつひで）・・・35歳。「フクダ社長殺人事件」を解決し、巷で噂の名探偵。

奥村 文乃（おくむら ふみの）・・・32歳。謎の女性。平井に桂の調査を依頼。畔上 遊助（あぜがみ ゆうすけ）・・・34歳。「フクダ社長殺人事件」の犯人。

福田社長の運転手をしていた。現在勾留中。

遠藤 綾人（えんどう あやと）・・・30歳。蝦蟇口組の若頭補佐。

玉城 妙（たましろ たえ）・・・27歳。「フクダ」の社長秘書。

中村 穂波（なかむら ほなみ）・・・29歳。「フクダ社長殺人事件」を独自に調査している刑事。

・名前のみ

福田 得之助（ふくだ とくのすけ）・・・享年39歳。パチンコメーカー「フクダ」の社長。

中村広司（なかむら こうじ）・・・中村の父。

篠原司・・・蝦蟇口組のトップ。遠藤とは敵対派閥。

野口聡・・・鵜堂会のトップ。レノア事件で死去。

○ザッピング1

【BGM】

暗闇の中。死体を背負って運ぶ桂。

【照明…ザッピング1】

桂　　なんで俺がこんなことを……。こういう肉体労働は助手の役目だろうがよ……。

舞台中央で一度死体を降ろす。息を切らす桂。

桂　　あのモグラめ。

桂、死体を担いで去る。

【BGM…ザッ、という切り替わりの音】

○ザッピング2

【照明…ザッピング2】

文乃と芳香。

文乃　　私はねファンタジーなんていららないの。真実が欲しいの。

芳香　　ファンタジーはいらない？

文乃　　人ってね、受け入れにくい真実より、納得しやすいファンタジーの方が好きなの。真実なんて本当は笑っちゃうくらいくだらないのにね。

芳香　　そうかもです！

文乃　　だからね、芳香ちゃんには真実を突き止めてもらいたいの。それがどれだけくだらなくてもね。

芳香　　わかりました！ お任せください！

【BGM…ザッ、という切り替わりの音】

○ザッピング3

【照明…ザッピング3】

畔上、動き出す。

カメラを連写する壮二。その横に真弓。

壮二 (ほっとしたように)シロ。

真弓 シロか。

壮二 何？ クロが良かったの？

真弓 いや、だって100万円だよ？

壮二 超ラッキーでしょ。

真弓 休暇中のサラリーマンを尾行しただけで、100万円って。

壮二 超ラッキー。

真弓 怪しいと思わない？

壮二 思うけど。

真弓 けど。

壮二 興味はないね。

真弓 あ、そう。

【BGM…ザッ、という切り替わりの音】

○ザッピング4

【照明…ザッピング4】

中村と畔上。

中村 畔上遊助。フクダ社長殺害の容疑で逮捕します。

中村に連行されていく畔上。

【BGM…ザッ、という切り替わりの音】

○ザッピング5

【照明…ザッピング5】

遠藤と玉城。玉城、スマホで記事を読みながら。

玉城 巷で噂の名探偵、桂光秀、またもお手柄。パチンコメーカーフクダの社長、福田得之助殺人事件を見事解決。犯人は社員の畔上遊助。社長を事故に見せかけて転落死させた疑い。

遠藤 どうしてこうなった？

玉城 こっちが聞きたい。

遠藤 お前、畔上を知ってるか？

玉城 社長の運転手。

遠藤 畔上との関係は？

玉城 運転手だから、たまにご飯とか行っただけ。

遠藤 惚れたんじゃないだろうな？

玉城 まさか。

遠藤 少し様子を見るか。

玉城 は？ 何言ってるの？ 様子を見る時間なんてないでしょ？

遠藤 お前にはな。俺にはある。

玉城 私が殺されてもいってこと？

遠藤 問題ない。

玉城 は？ ふざけんな！

遠藤 嘘嘘。俺と一緒にいりゃ、とりあえず身の安全は確保してやるよ。

玉城 私が死んだら遠藤さんだって困るんだからね！

遠藤 わかってるよ。お前は「長靴をはいた猫」だからな。

【BGM…ザッ、という切り替わりの音】

○ザッピング6

【照明…ザッピング6】

暗闇の中。無線で連絡を取り合う壮二と芳香。

2人はデジカメを持って、浮気調査中。

芳香 マルタイ(対象者)、女と合流しました！ 20代半ば、ですかね？ 白
いブラウスを着ています！

壮二 了解。中入るのか、出歩くのか、しつかり確認お願いします。

芳香 了解。…あ、ホテル街に行きますね。

壮二 わかりました。俺もそっちへ向かいます。合流したら、カップルを装っ
てください。

芳香 了解。

壮二、芳香、合流。芳香、壮二の腕を抱く。

芳香 あ、入りますよ？

壮二 (写真を撮る)はい。

芳香 クロ確定ですね！

壮二 そうですね。

芳香 三菱商事の役員なんてお偉いさんだと、やっぱり真っ黒ですね！

壮二 楽しそうですね。

芳香 え？ だってこの仕事の醍醐味じゃないですか！

壮二 あ、そう。

【BGM…ザツ、という切り替わりの音】

○一幕一場

【照明…地下駐車場】

壮二と芳香。

芳香 あっけなく終わっちゃいましたね。

壮二 まあ、そうですね。

芳香 本当、いつもつまらなそうですね。

壮二 そんなことないですよ。

芳香 じゃあ何してる時が楽しいんですか？

壮二 サウナですかね。

芳香 いいですね！ じゃあ行きますかサウナ！ 私、男女で入れる個室の
ところ知ってますよ！

壮二 なんで芳香さんと二人でサウナ入るんですか？

芳香 楽しそうじゃないですか？

壮二 心にもないことを。

芳香 写真撮って奥さんに送りつけるんです。

壮二 殺す気ですか。

芳香 壮二さん、真弓さんのことビビりすぎじゃないですか？

壮二 そりゃ、真弓は頭がいいですから。

芳香 医学部卒ですもんね！

壮二 あんまり得意じゃないんですよ。頭のいい人。

芳香 なんですかそれ。

壮二 そのままの意味です。

芳香 真弓さんは何で探偵やってるんですかねー？

壮二 さあ。やりたいからやってるんじゃないですか？

芳香 興味ないんですか？

壮二 ありますよ。

芳香 聞かないんですか？

壮二 わざわざ聞かなくても、今こうして、毎日平凡に生活できてるんだから

いいじゃないですか？

芳香 聞かない方が幸せってことですか？

壮二 人は適度な距離感を持って付き合った方が幸せなんです。

芳香 寂しくないんですか？

壮二 寂しい？

芳香 奥さんとまで距離感とって付き合うなんて。

壮二 昔からそうなので、別に。

芳香 だからかー。

壮二 何がです？

芳香 別に。

壮二 サウナ、行きますか。

芳香 2人ですか？

壮二 別々で、です。いつもの銭湯。

芳香　なーんだ。つまんないの。

壮二　普通です。

芳香　真面目ですね。

壮二　真面目な人間は探偵になんかならないですよ。

芳香　じゃあ私は探偵に不向きってことですね。

壮二　芳香さんのどこが真面目なんですか。

芳香　真面目じゃないですか？ 私たった3ヶ月ですけど探偵としてメキメ

キ成長してませんか？

壮二　まあ、そうかもしれないですけど。

芳香　ですよ？ 私、名探偵になれますかね？

壮二　それは無理ですよ。

芳香　何ですか？

壮二　この世に名探偵なんていないんですから。

芳香　いますよ。難事件を次々に解決する、探偵小説に出てくるような名探

偵。

壮二　桂光秀ですか。

芳香　ほら3年前の「倶楽部レノア襲撃事件」でしたっけ？　すごかったらし

いじゃないですか！

壮二　そうですね。でも桂光秀だって名探偵じゃないですよ。有「名」探偵っ

てだけです。

芳香　そうですかねー。壮二さんはなりたくないんですか？　名探偵。

壮二　俺は別にホームズに憧れて探偵やってるわけじゃないので。

芳香　じゃあ何で探偵やってるんですか？

壮二　猫探しが得意だったから。

芳香　探偵になった理由ですか？

壮二　うん。

真弓が飲むヨーグルトを飲みながら現れる。

○一幕二場

【照明…地明かり(探偵事務所)】

平井探偵事務所。真弓、芳香、壮二。

芳香 ただいま戻りましたー！

真弓 おかえりー。

壮二 最近やたらヨーグルト飲んでるね。

真弓 腸内環境を整えると免疫力が上がるんだって！

壮二 へえー。健康のため？

真弓 そんな感じ。で、どうだった？ あ、待って。その顔はクロだったみた
いね。

壮二 まあ。クロだね。後は女の方の素性を洗えば。

芳香 え？ なんでクロだったってわかるんですか？

真弓、芳香の匂いを嗅ぐ。

芳香 え？ え？ なんですか？

真弓 お風呂入って帰ってきたでしょ？

芳香 あ、はい。そうですけど。それが？

真弓 クロだと大抵この人サウナ行つて帰ってくるから。

芳香 確かに！ 壮二さんいつもそうかもです！ さすがの推理ですね！

真弓 でしょ？

芳香 やっぱり浮気調査って多いんですか？ なんかもまだ3ヶ月ですけど、
ここ来てからそればっかな気がして。

真弓 多い多い。うちは大半浮気調査だから。

芳香 じゃあ、壮二さんが浮気したらどうしますか？

真弓 壮二が浮気？ するわけないでしょ？

芳香 小学生からの付き合いだとそんな感じになるんですかね？

真弓 別に、だからってわけじゃないけど。

芳香 でも幼馴染と結婚なんて羨ましいですよね？

真弓 そう？

芳香 幼馴染と結婚とか美しい恋愛の究極系の一つじゃないですか？

壮二 全然そんなことないですよ。

芳香 えーそうですか？

壮二　むしろ幼少の時から付き合いが今も続いてるなんて、複雑怪奇で入り組んでいます。自然じゃないですよ。

真弓　複雑怪奇って。そんな大袈裟な。

芳香　アレ？　これは夫婦の認識のズレってやつですか？

壮二　意味深な言い方やめてもらえます？

芳香　このズレは壮二さんの浮気に繋がりますよ？

壮二　なんで俺に浮気させようとするんですか。

真弓　そうそう。この人にそんな欲はないでしょ。いつの間にか精力ゼロ人間になっちゃったんだから。

芳香　精力ゼロ人間？

真弓　無気力。無関心。無感動。ただ生きてるだけ。

芳香　それは流石に言い過ぎじゃ。

壮二　いいんですよ。どうせ、俺なんてそんなもんですから。

芳香　よくないですよ！　真弓さん、そんなこと言っていると本気で浮気されちゃいますよ？

真弓　そうなの？

壮二　ほら、芳香さん、余計なこと言わないで。

芳香　だって！　壮二さんかわいそうだから。

真弓　かわいそう？

芳香　こんなに色んなことを楽しめないなんて、もしかして病気なんじゃないかって思っただけ。

壮二　病気じゃないです。

芳香　でも、その感じ。

真弓　この人はね、どうしようもないことで悩んでるだけなの。

芳香　どうしようもないこと？

真弓　どうしようもないことで悩んだってしょうがないんだから、なのにそれをウジウジウジウジやってるだけ。

芳香　壮二さんは何に悩んでるんですか？

真弓　この人はずっと死んだ人のことをウジウジ言ってるの。

壮二　言っていないよ。

真弓　嘘ばかり！

壮二　嘘じゃないよ。もういいや、ってなっただけ。

芳香 誰が、死んじゃったんですか？

真弓 ……黒猫さん。

芳香 黒猫？

壮二 もうその話はやめよう！

真弓 壮二がいつまで経ってもちゃんと話さないからでしょ！

壮二 放っておいてくれ！

真弓 私はもつと「ちゃんと」して欲しいだけ。

壮二 回りくどいよ。「ちゃんと」って何だって話よ。本題を言えって！

真弓 だから前からずっと言ってるでしょ！ そろそろ子どもをさあ！

壮二 ……いや、またそれ？

真弓 もう今年35だからね私。いくら若く見えても臓器は35だから！

壮二 いや、臓器年齢は知らないけど。別に作りたきや作ればいいじゃんって
言ってるでしょ？

真弓 今のままだや無理でしょ？

壮二 なんで無理なの？ 仕事だって最低限ちゃんとやってるじゃない？
子どもだって最低限の協力はすると。

真弓 ほら、わかってない。何最低限って？ 家族って最低限でいいわけ？

壮二 壮二は私のこと家族だと思ってくれてない。

壮二 思ってるって。家族観の違いなだけだって！ 育ちが悪くて悪かった
ね！

真弓 そんなこと言ってないでしょ？ 価値観が違ったら、夫婦ならその価
値観を合わせていかなきゃいけないよねって話をしてるだけでしょ？

壮二 だからいけないんだって。世は多様性の時代よ？ 考え方は違っ
て当然。夫婦だからって価値観合わせる必要ないっての。

真弓 だから！ 今まではそれでいいけど、子供ができたら変わらなきゃい
けないじゃんって話をしてるの！ 多様性とは別の話！ 最低限じゃ子ども
は育てられないの！

壮二 だったら、いいじゃん子どもは。コストかかるし。

真弓 子どもをコストで語っちゃダメでしょ！ あなたに愛はないわけ？

壮二 あるよ。俺はちゃんと真弓のことも愛してるし、今の暮らしだって満足
してる。

真弓 未来は？

壮二 え？

真弓 壮二は私たちの未来まで愛してくれてない。

壮二 未来を愛するってなんだよ。

真弓 黒猫さんだって、未来を愛してたと思うよ！ だからあなたに！

壮二 その話はやめろっつってんだろ！！！！

間。

壮二 第一何でそんなに子供が欲しいのよ。

真弓 何で欲しくないの？

芳香 ちょっともう！ やめましょうよ！ 堂々巡りです。もっと落ち着いて話した方が良いと思います。

真弓 そうね。ごめんなさい。

壮二 最近やけに焦ってない？

真弓 え？

壮二 いや、なんか、真弓らしくなくて、心配だよ。

真弓 そうかな？ うん。そうかも。ごめん。じゃ、そう！ そうね！ 気を

取り直して、芳香ちゃんによる「すべらない話」で盛り上げてもらいましょ！

芳香 いや、無茶ぶりすぎますから！ それ！

そこに中村が入ってくる。

中村 突然すいません。警察です。

壮二 え？ 警察？

中村 この記事、ご存知ですか？

芳香 なんですかいきなり！

中村 この記事、ご存知ですか？ フクダ社長殺人事件。

壮二 え？

芳香 フクダ社長が殺された？ ……いつですか？

中村 8月20日です。社長は休暇中に軽井沢の別荘で殺されました。解決したのは名探偵桂光秀。犯人は畔上遊助。ご存知ですよね？ あなた方がつい最

近尾行していた。この写真の人物です。(写真を見せる)

壮二 ……ちよつと待つてくださいよ。いや、確かに。……でも変ですよ。8
月20日は畔上遊助は都内にいたはずです。

中村 やっぱりそうなんですね！

【BGM】

壮二 え？

中村 事件がニュースになった後、畔上遊助によく似た人物を8月20日に都内で見たという方から電話がありました。ただそれだけでは信ぴょう性が薄い。

壮二 どうしてここが？

中村 福田社長のパソコンの検索履歴にこちらがあつたんですよ。あなた方は福田社長から依頼を受けて畔上遊助を探っていた。違いますか？

壮二 ……守秘義務がありますので。

中村 畔上遊助にはアリバイがある。なのに、桂光秀は畔上遊助を犯人と推理して、畔上遊助はそれを認めた。おかしいですよね！

壮二 知らないですよ。

真弓 猫？

中村 え？

真弓 猫の匂いにする。

中村 ……ああ。さっきまで福田社長の家にいたせいですね。

芳香 どういうことですか？

中村 福田社長は大の猫好きで、ご自宅でたくさん猫を飼われているんです。亡くなった時にも別荘に連れていった猫がたくさんいましたから。

真弓 猫まみれの中捜査したら猫臭くなっちゃったってことね。

中村 ……とにかく。あなた方の反応を見るに福田社長からの依頼で畔上遊助を尾行していたことは間違いないようですね。今日はこれで失礼します。

中村、去る。

壮二 100万円がラッキーとも言えなくなってきたかも？ 芳香さん、依頼人に連絡取れますか？ ちよつと話を聞く必要がありますよね。

芳香　楽しくなってきましたね！
壮二　楽しくはないですよ。

○二幕一場

【照明…面会室】

留置所。面会室。

玉城と畔上。畔上は時々爪を噛む。

畔上　ああ。玉城さん。

玉城　どうして、福田社長を殺したんですか？

畔上　どうしてって。まあ、うざったかった、ですしね。

玉城　それだけで殺しますか？　仕事を辞めれば済む話じゃないですか？

畔上　仕事？　ああ、運転手。運転手だって、好きでやってたわけじゃないですし。

玉城　だったら尚更！

畔上　そんなに必要ですかね？　殺人に動機って。

玉城　え？

畔上　ものの弾みってあるじゃないですか？　そんなに詳しく理由を聞かれても、うん。ちよっと、難しいですね。

玉城　私、どうしても信じられないんです。畔上さんが人を殺すなんて。

畔上　名探偵桂光秀が言うんだから、間違いないでしょう？

玉城　覚えてますか？　私と初めてランチに行った日のこと。

畔上　はい。覚えてますよ。あの日は楽しかった。

玉城　あの日、レストランで隣の席のおばあちゃんが体調崩しちゃって。

畔上　ああ。そうでしたね。

玉城　見ず知らずの人にあそこまでできる人って、なかなかいないですよ？

私、その姿見て、畔上さんのこと尊敬したんですから。

畔上　ありがとうございます。

玉城　そういうことをする人が人を殺すなんて、信じられないんです。

畔上　ありがとうございます。でも、いいんですよ。きっと全ては何かの巡り合わせなんです。「風が吹けば桶屋が儲かる」じゃないですけど、私のきつと、

日常生活していく中での些細な何かが、私をこうさせたんだと思いますよ。

玉城 畔上さん。

畔上 ん？

玉城 誰かを庇っているんですか？

畔上 ……。いや。そんなことはないですよ。

玉城 庇う理由はなんですか？

畔上 (笑い出す)

玉城 え？

畔上 それもきつと全ては何かの巡り合わせですよ。

玉城 ……。

畔上 ……。

玉城、去る。畔上、静止。

【BGM】

○二幕二場

【照明…地下駐車場】

留置所への道。桂と中村。

中村 畔上のところに行くんですよね？ どうして私を除け者にするんですか？

桂 うるせえな。お前には関係ねえだろうよ！

中村 バカにしないでもらえます？

桂 ああ？

中村 私、畔上にはアリバイがあることを突き止めました。畔上に福田社長の殺害は不可能です。

桂 だったらなんだよ。

中村 どうして上層部と桂さんは畔上に罪を着せようとするんですか？ 何を企んでるんですか？ この事件に何かお父さんが関係してるんですか？

桂 ……中村、お前、広司さんみたいな汚い刑事(デカ)になりたいのか？

中村 え？

桂 違うならついてくるんじゃないよ！

中村 かっこつけないでもらえますか？ 汚いのがかっこいいとか思ってるんですか？

桂 うるせえな、ほんとに。お前、死ぬ覚悟はあるのか？

中村 ないですよそんなの。そういう粋がった発言はしないようにしてるんです。

桂 ……いいか。一度しか言わねえ。よく聞けよ。俺の読みが正しけりや、今回の事件。福田社長を殺したのは玉城って秘書だ。玉城はどうやらフクダの金を蝦蟇口組に流していたらしい。なぜここにきて急に福田社長を殺したのかはしらねえが、ここで玉城を逮捕しちまったら事件は闇の中。玉城が切られるだけだ。蝦蟇口組まで辿り着けない。だから俺たちは、一旦畔上を犯人に仕立て上げて逮捕し、玉城を泳がすことにしたんだ。玉城の証拠を掴むためにな。ところがどうだ？ 畔上はすんなり逮捕を受け入れやがった。普通急に冤罪で自分が逮捕されるつつたら、もっと動揺するもんだ。ところが、あいつは毅然としていた。こりゃ下手すると蝦蟇口と繋がってたのは畔上かもしれないえ。

中村 どうしてそれを私に黙ってたんですか？

桂 ああ？

中村 お父さんを殺したヤクザに復讐するんですよね？ どうして私は一緒にいちやダメなんですか？

桂 なぜ一緒にいちやダメか？ 復讐なんか、しねえからだよ。

中村 復讐しない？

桂 お前はヤクザとの付き合い方がわかってない。

中村 そんなの知っててもカッコよくないですからね！

桂 ふん。

○二幕三場

【照明…面会室】

留置所。

畔上のいるところに桂と中村が入ってくる。

畔上は時々爪を噛む。

中村 どうも。中村です。覚えてますか、ね？

畔上 私を逮捕した刑事さんですよ。覚えてますよ。何の用ですか？

中村 いえ、事件当時のことをもう少し詳しくお伺いしたいと思います。

畔上 名探偵さんも一緒に来ていただいたところ恐縮ですけど、話すことはないですよ。

桂 ないわけねえだろうがよ！

畔上 桂さん、あなたの推理が全てです。私はあの日、別荘から出発する福田社長をお迎えに上がり、喉が渴いたという社長に睡眠薬入りの水を飲ませました。そして社長が眠った後で社長を運転席に移動。事故に見せかけて崖から転落死させました。

桂 それは真実じゃない。何を隠してやがんだお前は！

畔上 いいじゃないですか。真実なんて。

桂 玉城妙。

畔上 ……。

桂 俺らの前に面談に来た女。何か知ってるだろ？

畔上 知りませんよ。

桂 知りませんは嘘だろうが。一緒に飯行つて知らない仲か？

畔上 だから、それが全てですよ。彼女とはたまに食事に行く程度の仲でしかないんですから。

桂 たまにつつーのは？ どのくらいの頻度だ？

畔上 月に1回、行くか行かないか、くらいです。

桂 いつから？

畔上 彼女がうちに入社してからなんで、4〜5年ですかね。

桂 抱いたのか？

畔上 え？

桂 惚れてたんだろ？ 抱いたのか？ って。

畔上 そんな関係じゃないですよ。

桂 その玉城つて女と福田社長の関係は？

畔上 社長と社員。それだけじゃないんですか？

中村 それだけじゃないとしたら、何だと思えますか？

畔上 え？ いや、あんまり、想像したくないですね。

桂 惚れてたのか？

畔上 そうじゃなくても、会社の後輩と社長の噂なんて想像して気持ちのいいものじゃないでしょう？

桂 そりゃそうだ！

中村 社内でそんな噂は？

畔上 聞いたことないです。

桂 ほん。じゃあもう一個、単刀直入に聞くぞ。蝦蟇口組とお前んこの社長の関係は何だ？

畔上 蝦蟇口組？

桂 フクダは蝦蟇口組と関係があった。そうだな？

畔上 知りません。

桂 もう一回だけ聞くぞ？ 「お前」は蝦蟇口組と関係があった。そうだな？

畔上 ちよつと2回目の質問、変わってませんか？

桂 本当に知らねえのか？

畔上 ただの運転手ですから。

桂 運転手だからこそ社長の動向はわかるだろうよ？ どうだ？

畔上 知りません。

桂 そうか。そうか。

中村 桂さん、この人本当に何も知らないんじゃないですか？

桂 おい畔上。お前が社長を殺した理由は？

畔上 名探偵さんがおっしゃったんじゃないですか？ 私が運転手になった理由こそ、社長を殺した理由だって。私が開発した最先端のシステムを社長に奪われた。だから私は社長に近づいた。大正解です。それ以上でもそれ以下でもありませんよ。

桂 そうかそうか。そりゃ悪かったな！ 二度手間なことをしちゃったみたいですよ！

畔上 ……。そうですね。

中村 私も一個聞いていいですか？

畔上 なんですか？

中村 8月20日、あなたは何をしていましたか？

畔上 ……。事件のあった日ですよ？ 何をもって、軽井沢で社長を。

中村 都内で目撃証言がありますが？
畔上 人違いじゃないですか？
中村 ……もう行きますか。
桂 ああ。

畔上、去る。

○二幕四場

【照明…地下駐車場】

留置所の帰り道。

桂と中村。

桂 どう思う？

中村 桂さんはなぜ玉城が犯人だと思うんですか？

桂 福田の死因は転落死じゃない。

中村 え？

桂 確かに車は崖から転落した。だが、福田社長の死因は撲殺だ。

中村 崖から落ちて転落死じゃないんですか？

桂 ああ。凶器が見つかってねえんだ。畔上を犯人にするために死因は転落死で通すことにした。

中村 凶器が見つかってない。

桂 そうだ。人を殴り殺すほどの威力。当然、福田社長の血もついてるだろう。だが現場からそんなものは発見されなかった。

中村 じゃあ桂さんは、玉城が撲殺した福田社長を車に運んで崖から突き落としたりしたと？

桂 いや。そうじゃねえ。玉城が福田社長を撲殺したのは別荘の書斎だ。

中村 え？

桂 書斎で撲殺。気心が知れた仲じゃねえとできねえだろ？

中村 だから玉城が犯人だと？ でもじゃあ書斎から車に運んだのは？

桂 車に運んで落としたのは俺だ。

中村 それって死体遺棄じゃないですか！

桂 ああ。そうだ。死体つてのは自らおぶさろうと言う意志がない。移動させんのは大変なんだよ。

中村 よく平然とそんなこと言えますね。第一それじゃあ警察よりも先に死体を見つけてたつてことになるじゃないですか？

桂 ああ、俺はあの日事件が起こることを知っていた。それが桂光秀だ。

中村 「マッチポンプ。」

桂 この話はここまでだ。

中村 ここまでつて言われて納得すると思いますか？

桂 ここまでと言った俺がこれ以上話をすると思うか？

中村 いえ。

桂 おい中村。

中村 何です？

桂 お前、親父の伝手でまだ使えるもんとかねえのか？

中村 あれ？ 私を頼るんですか？

桂 同じルートから探っても埒があかねえからな。

中村 へー。

桂 なんだよ！

中村 いえ。

桂 で？ どうなんだ？ 俺について来るからにはその辺の情報の一つや

二つ。

中村 うーん。ほとんど縁切れちゃいましたからねえ。桂さんのせいで。

桂 は？ 何で俺のせいなんだよ！

中村 ……桂さんのせいでしょ。お父さんが死んだのは。

桂 ……悪かったよ。

中村 倶楽部レノア襲撃事件の時、鵜堂会を待ち伏せたお父さんは、鵜堂会構成員の反撃を受けて死んだ。桂さんを庇つて。

桂 ……。

中村 よくそのままヤクザと付き合い続けられますよね。

桂 蝦蟇口組は鵜堂会程イかれちゃいねえよ。

中村 一緒ですよ。ヤクザなんて。

桂 で。そのヤクザとはお前はもう繋がりはねえのか？

中村 あ。一人、まだ使えるかもしれません。

桂 何？

中村 私も友達だったのが、一人。

桂 なんて名前だ？

中村 遠藤綾人、です。

桂 友達って言ったな？

中村 遠藤さんのお父さんも蝦蟇口組の偉いヤクザだったんです。だから小

さい頃から知ってて。

桂 遠藤。まさか関西の？

中村 ああ多分。それかもです。

桂 ビンゴ！ なるほど。俺のルートじゃ会ったことがないわけだ。

中村 どういうことですか？

桂 遠藤は今の蝦蟇口組の組長、篠原司とは派閥が違うんだ。

中村 ってことは、お父さんはどっちの派閥とも仲良くしてたってことですか？

桂

桂 ってことを今知った。よし、そこから攻めよう。

中村 あ、はい。

○二幕五場

【BGM】

【照明…ネオン】

バー。

桂、中村の前に遠藤が現れる。

遠藤 おう、穂波ちゃん！

中村 ご無沙汰してます。

遠藤 いやあ中村刑事には随分お世話になったからなあ。

中村 そうですか。

遠藤 だから残念だよ、レノアの時のアレは。

中村 はい。

遠藤 お陰様で俺も結構、偉くなったのよ。

中村 そうなんですか。

遠藤 次期、若頭。
中村 本当ですか？
遠藤 本当、本当。すごいでしょ？
中村 びつくりです。だって遠藤さんって私と。
遠藤 そうそう今年30で穂波ちゃんと同じ年。
桂 何したんだ？
遠藤 ……誰このおっさん？
中村 桂光秀って知りませんか？
遠藤 ああ。お前がああ。
桂 何したんだ？
遠藤 あ？
桂 何やって次期若頭までのし上がったんだって聞いてんだよ。
中村 ちよつと桂さんいきなり。
遠藤 お前に言う義理はねえな。名探偵。
桂 フクダの周りを探ってる。何か知らねえか？
遠藤 フクダ？
桂 知らねえとは言わせねえぞ。
遠藤 知ってるさ。よく知ってる。
桂 蝦蟇口がやったのか？
遠藤 何言ってるんだ。その事件なら、お前が解決したんだろ。
桂 畔上は犯人じゃねえ。犯人は別にいる。
遠藤 名探偵もたまには推理を外すってことか？
桂 わかりやすい真実を一時的に世間にくれてやっただけだ。
遠藤 どういうことだ？
桂 真実は蝦蟇口にある。違うか？
遠藤 なあ名探偵。穂波ちゃんの親父の伝手で俺んとこ来たんだろ？ タダ
で情報くれつつうのは少し礼儀がなってないんじゃないか？ まあ穂波ち
ゃん。
中村 ごめんなさい。この人、そういうの疎くて。
遠藤 疎いとか聡いとかそんなことは関係ないんだよ！
桂 お前アレだな、
遠藤 ああ？

桂　そこそこ頭いいだろ？

中村　何それ？

遠藤　はあ？　何だデメエ上から。

桂　言葉尻から賢さが透けてるぜ？

遠藤　だったら何だってんだ！

桂　なぜバカのふりをする？

遠藤　してねえつつうの！

桂　若頭の地位を得るまで我慢してんのか？

遠藤　うるせえなデメエ！

桂　どのくらいだ？

遠藤　ああ？

桂　あと何席空けばいいんだ？　俺が空けてやるよ？

遠藤　……策はあるのか？

桂　のってきたな。

遠藤　のっちゃいねえ。聞く耳を持ったただけだ。

桂　じゃあ耳の穴かっぼじってよおく聞くんだな。

桂、遠藤に何やら耳打ちする。

遠藤　そりや本当か？

中村　何？　なんて言ったの？

桂　あとで教えてやるよ。

中村　今だっていいじゃないですか。

遠藤　おい。

桂　何だ？

遠藤　お前に何ができる？

桂　証拠はまだ握っちゃいねえが、今警察は玉城っていうフクダの社長秘書の女を泳がしてる。

遠藤　泳がしてる？

桂　玉城からお前らんとこに金が流れてるって噂があつてな。

遠藤　ほう。フクダからうちにねえ。

桂　証拠さえ見つけりゃ、一気におめえんらんとこにガサ入れだ。

遠藤 そういうことか。そりゃあ、困るな。

桂 だが、お前の協力次第じゃ、パクるのを半分にしてやってもいい。

遠藤 半分？

桂 今の組長、篠原司の派閥だけをごっそりパクる。

遠藤 お前、俺が篠原さん側だったらどうしてたつもりだ？

桂 その辺は下調べ済みだ。お前の親父さんと今の組長の仲も、な。

遠藤 なるほどな。

桂 どうだ？ お前は役に立つのか？ 玉城が金を流してる証拠を提供し

ろ。

遠藤 嫌だと言ったら？

桂 時間の問題だ。半分じゃなく、全員。パクってやるよ。その間にお前らは

鵜堂会にでも食われちまいな。

遠藤 なるほど。そりゃ勘弁してもらいてえな。

桂 どうする？

遠藤 あんた、運がいいな。

桂 あ？

遠藤 俺は、その証拠に繋がるカードを持ってる。

桂 ほう。

遠藤 次の、お前がカードを持ってるかどうかだ。お前にそんなマネができるのか？

桂 ああ。カードは持ってるし、くれてやる。

遠藤 じゃあ準備ができれば穂波ちゃんから連絡させな？

桂 ああ。

遠藤 またな、穂波ちゃん！

中村 うん。また。

遠藤、去る。

【BGM】

中村 さっきの耳打ちって何だったんですか？

桂 秘密だ。

中村 は？ 後で教えるって言ったじゃないですか！

桂 ちよつと危険なブラフなんだよ。下手すりや命に関わる。
中村 はあ？ 何でそんな嘘つくんですか？
桂 嘘じゃない。情報が揃ってねえだけだ。
中村 意味がわからないんですけど！
桂 ガサ入れの準備も始めなきやな。警察上層部の連中に会いに行こう。
中村 そうやってすぐ除け者に。

中村、桂、去る。

○三幕一場

平井探偵事務所。

壮二、芳香、真弓、文乃。

【照明…探偵事務所】

壮二 あの、初めまして、ですよね？
文乃 前世とかで会ってなければ初めてのはずだけど？ それとも女を口説く常套手段？
壮二 いや、単純に。
文乃 芳香ちゃんには会ってるけどねー。
芳香 そうそう！ 文乃さんは私がいつものバーで見つけたお客さんだもん！
壮二 ですよね。
文乃 依頼もバーから電話でしたでしょ？
壮二 そう、ですよね。
真弓 どうしたの？
壮二 いや。
芳香 気のせいじゃないですか？
壮二 そうですかねー。
芳香 ほら、文乃さんってどこにでもいそうな顔立ちしてるから。
文乃 何それ！ それ言うなら芳香ちゃんもでしょ！
芳香 えー。私結構特徴ある顔してると思うんですけど！

文乃 普通普通！ どこにでもいる！

壮二 「一流企業の役員で近所じや評判のいいパパが、会社帰りにえげつない不倫をしていた。」

文乃 え？

壮二 「ベンチャー企業のエースセールスマンが、取引先からバック、つまり賄賂を受けていた。」「バーで知り合ったどこにでもいそうな女性がとんでもない秘密を抱えていた。」

文乃 何それ？

壮二 わかんないです。勘です勘。どこにでもいそうって逆にどこにでもないくないですか？

芳香 そうかも！ 平均顔って現実で見つけるの難しいですよね。

文乃 何？ 私に「とんでもない秘密」があるって言いたいのか？

壮二 まあ、端的に言えば？

文乃 その秘密を暴くのが探偵の仕事じゃないの？

壮二 そうですけどね。

芳香 文乃さんのせいでこっちはビビりまくりなんですよ！ 急に警察来るし！

壮二 半分は芳香さんがろくに依頼人について話を聞かずに依頼を受けたのが悪いですけど。

芳香 だって100万円ですよ！ 100万円！

壮二 はいはい。

芳香 詳しいことより100万円ですよ！

壮二 わかりましたから。で、奥村文乃さん。あなたとフクダの関係はなんなんですか？

文乃 フクダなんて知らない。

壮二 知らないはずないでしょう？ あなた、我々に福田社長殺しの犯人を尾行させたんですよ。

文乃 だから知らないって！ 言われたただけだから。

芳香 言われた？ 誰にですか？

文乃 桂光秀！ 100万円も桂光秀が用意したの！

芳香 桂光秀って、あの桂光秀ですか？ 畔上を犯人だって推理した。

文乃 そう！ その桂光秀。

壮二 ……桂光秀が？なぜ？

文乃 知らないよ。急に電話が来て。私にも100万円くれるって言うからさ！そりゃ受けるでしょ？

芳香 文乃さんも100万円もらってるんですか？

文乃 タダで動く訳ないじゃん！

壮二 あなたと桂光秀の関係は？

文乃 元カレ。

芳香 ええ！？

文乃 あいつがまだ有名になる前ね。その頃は岩井太郎って名前だったけど。

芳香 岩井太郎。探偵になって名前を変えたんですか？

文乃 バカみたいでしょ？

壮二、ファイルを出す。

壮二 これが、畔上遊助の調査資料です。あなたに依頼された翌日、つまり8月13日から1週間。8月20日までの彼の動向。取り立てて目立つ動きはありません。ただ、最終日、8月20日に彼は都内にいたはずで、こうして写真も残っていますが、なぜか同じ日に軽井沢で福田社長を殺しているという謎はありますけどね。

文乃 どうも。

壮二 あなた、もしくは桂光秀の依頼はこれで達成されました。入金も確認済みです。私もこれ以上あなたのことは詮索しません。

文乃 勝手にすれば？

芳香 え？ちよっと、これで終わり？いいんですか？桂光秀の目的とか探らなくて！

壮二 探るメリットがないです。

真弓 私も、このままじゃ気持ち悪いんだけど。

壮二 調べてもお金にならない。時間の無駄。

芳香 気にならないんですか？どうして都内にいた畔上が軽井沢で殺人を。

壮二 気になるかもしれないですね。

芳香 じゃあ！

壮二 仕事は最低限。

芳香 でも。

文乃 (資料をパラパラと見て)へえ、探偵ってここまで調べられるんだねー。

壮二 まあ、最低限ですが。

文乃 じゃあさ、私からも一個頼んでいい？

芳香 え？ 追加の依頼ですか？

壮二 あの、奥村さん、あなたは今回の件で、私たちの情報収集能力を信用してくれてたのかもしれませんが、私たちの方は。

芳香 まずはお話だけでも聞かせてもらいましようか？

真弓 成功報酬は？

壮二 ちよつと。

芳香 仕事ですから!!!

文乃 100万円。

間。

芳香 調べたらお金になりますね？ 壮二さん。

【BGM】

壮二 奥村さん、このお金って。

文乃 そう。桂光秀からもらったお金。

壮二 どうして？

文乃 桂光秀に仕返ししたいから。

壮二 仕返し？

芳香 どういう意味ですか？

文乃 急に連絡してきて、100万渡して、変な依頼させて、舐めてるでしょあいつ。

芳香 ま、まあそうかもしれないけど。

文乃 あいつの地位を叩き落としたいの。

芳香 ええ？

文乃 あんなの全然名探偵じゃない。あいつはバカなんだから。

壮二 何か知ってるんですか？

文乃 あいつは中村広司とかいう刑事と知り合って、おかしくなった。

芳香 中村広司？

文乃 真っ黒なコート着た怪しい刑事。警察だけど悪いやつだったって。

芳香 悪徳警官ってやつですか。

文乃 中村広司はヤクザとつるんで薬や拳銃の密売に協力してたって。まあ、「倶楽部レノア襲撃事件」で死んじゃったらしいけど。

芳香 「倶楽部レノア襲撃事件」。

文乃 ああ、ごめん。知ってる？

芳香 もちろん知ってますよ？ あれで桂光秀は一躍有名になりましたもん

ね！ 桂光秀がヤクザの襲撃を予想して、警察と組んで一網打尽にした事件ですよ。あれで鵜堂会は壊滅近くまで追い込まれて組長の野口聡も抗争の中で死んだとか。

壮二 やけに詳しいですね。

芳香 桂光秀のファンなんで。

壮二 そうですか。

文乃 私、思ったの。あいつ、中村広司の後を継いで、ヤクザと繋がってマツチポンプで事件を解決してるんじゃないかって。

芳香 マツチポンプで事件を解決？

文乃 自作自演ってこと。「倶楽部レノア襲撃事件」だってそう。世間的には推理で襲撃場所を予測したことになるけど、本当はヤクザと繋がって予め襲撃場所を知っていただけ。桂光秀は偽物の名探偵ってこと。

芳香 でもそんなことしてヤクザ側にメリットありますかねー？

文乃 知らない？ 「倶楽部レノア襲撃事件」で一斉摘発されたのは鵜堂会。

芳香 蝦蟇口組の敵対勢力。

文乃 そう。桂光秀は蝦蟇口組に関する事件は暴かない。嘘の容疑者を仕立て上げて闇の中へポーン。

芳香 それが本当なら激ヤバな話じゃないですか！

壮二 なんで楽しそうなんですか。

文乃 たまたまお店に鵜堂会の人間が来たことがあってさ。「蝦蟇口の野郎、探偵なんかとつるみやがって。」みたいなこと言ってたんだよね。だから割とマジだと思っただけ。

芳香 その噂の証拠を突き止めるって訳ですね！

文乃　まあ、そんな感じ？　証拠が出ればあいつも終わりでしょ？　あいつのファンタジーを終わらせるの。

壮二　ファンタジー？

文乃　名探偵とかいう絵空事はもうおしまいにする。そうすれば畔上くんも救われる。

芳香　中学の同級生でしたっけ？

文乃　そ。あんまり絡みはなかったけどねー。でも気分悪いじゃん？

芳香　まあそうですね。

壮二　桂光秀がマッチポンプ探偵だとして。福田社長殺人事件がマッチポンプで解決された事件だとして。犯人にしようとしてる畔上のアリバイを証明してあげるような依頼を自分でしますかね？

文乃　そんなの私に聞かれても困るんだけど。

壮二　いえ、別に。素朴な疑問というか。

芳香　お、壮二さん、のつてきましたね！

壮二　のつてないです。

芳香　いやでも今。

真弓　依頼は桂光秀の素行調査ってことで良さそう？

文乃　はい。

壮二　受けませんよ。

真弓・文乃　え？

壮二　桂光秀の素行調査なんて受けませんよ。

文乃　どうして？

壮二　話を聞いてれば、蝦蟇口組だとか鵜堂会だとか、警察だとか、危ない橋すぎる！　俺には荷が重いよ。

真弓　何ですよ？　せっかく舞い込んできたチャンスでしょ？　こんな大きな話一生に一度あるかないか。

壮二　リスクが大きすぎる。手を出すメリットがない。

真弓　黒猫さんが関わってるからでしょ？

芳香　黒猫さんって。前に話してた。

【BGM】

真弓 不吉の象徴。死神。そう恐れられてた刑事さん。それが中村刑事。壮二はね、昔からよく中村刑事にお世話になってたの。

壮二 だったら？

真弓 黒猫さんが関わってるからこそ、壮二はやるべきなんじゃないの？

壮二 奥村さんの言葉を借りるなら、真弓の言ってることはファンタジーだ。

真弓 ファンタジー？

壮二 面白く虚飾された情報や理論ってこと。世の中にはそういうファンタジーが溢れてる。ジャンクフードばかり食べてたら味覚が麻痺するでしょ？ それと同じ。面白いファンタジーが世の中には溢れてるから、相対的に真実はつまらなく感じる。だから広司さんと俺の現状を繋げたがる。

真弓 私はファンタジーが悪いとは思わない。「つまらない」と思って生きる親を持った子は可哀想。

壮二 なるほど。そうかも。

真弓 何で受け入れるの？

壮二 うちの親がそうだったから。

真弓 え？

壮二 人生初めての浮気調査は自分の母親。多分自分の人生で一番スリルのあった尾行。あの人は多分、家庭がつまらなかつたんだ。「つまらない」と人間は3大欲求に走りがちだからね。ま、実際のところどうだったのか、俺が浮気を暴いて父親に報告したら、自殺しちゃったから、わかんないけど。真実なんてくだらないよ。

真弓 何でそんな話？

壮二 わかってほしかったからじゃない？ そういう体験が、今の俺を生んでる。納得しやすいでしょ？ そういう話があつた方が。俺が言いたかつたのはつまり結局人と人は違う、夫婦だろうが家族だろうが他人は他人、それはしようがないよね、ってこと。

真弓 そっか。でもさ。壮二も私のことわかってないよ？

壮二 もちろん。そういう部分もあるだろうね。

真弓 真実って言うなら、私、全部知ってるよ？

壮二 ……何を？

真弓 「桂光秀」のこと。

芳香 え？ どういうことですか？

真弓　それでもファンタジーは悪いこと？

壮二　そっか！なるほどな！　そうかそうか。とにかく！　俺はこの依頼は受けない。桂光秀にも広司さんにも関わりたくない！　受けるなら俺はやらないから好きにして！

壮二、出て行く。

芳香　真弓さんがいけないです！

真弓　そうね。

芳香　真弓さんがもつと「今」の壮二さんを認めてあげないから！　言っただけじゃないと！　今のあなたは十分すごいって！　真実もファンタジーもあるから面白いんだって！

真弓　真実もファンタジーもあるから面白い、か。んー、芳香ちゃんはやっぱりすごいねー。真っ直ぐだわ。

芳香　私、壮二さんのところに行ってきます。

真弓　そうね、私なんかに行くよりあなたが行った方があの人も喜ぶと思う。

芳香　すいません。文乃さん。

文乃　え？　行っちゃうの？　私はどうすんの？

芳香　すいません！

芳香、去る。

ため息をつく真弓。

文乃　どうするの？

真弓　うん。私が間違ってた。

文乃　どう言うこと？

真弓　芳香ちゃんが正しいんじゃないかなってこと！

○三幕二場

【照明…面会室】

留置所。面会室。

壮二入ってくる。

真弓と畔上。

畔上は時々爪を噛む。

畔上 桂が蝦蟇口組と？

真弓 そんな噂が。

畔上 それをどうして？

真弓 あなたの中学時代の同級生の奥村さんって人から聞いたの。

畔上 奥村さん？

真弓 なんかないあなたに会うの恥ずかしがっちゃって。今は外で待ってるけど。

畔上 そうですか。

真弓 桂光秀、ここに來てるでしょ？ どんな話した？

畔上 世間のイメージとは違いましたね。

真弓 世間のイメージ？

畔上 ヤクザかと思いました。すごい剣幕で捲し立てて、怒鳴られて。

真弓 聞かれたことは？

畔上 玉城さんについてと、蝦蟇口組についてと、ですかね。

真弓 玉城さん？

畔上 仕事の同僚です。

真弓 何で玉城さんの話が出てくるの？

畔上 さあ？ 社長と玉城さんにそういう噂があったとか。

真弓 勝手にあなたを冤罪だと仮定するとき。

畔上 勝手ですね。その仮定は間違ってますよ？

真弓 でも、奥村さんが言うからねー。

畔上 あの、さっきからお話している奥村さんですけど。

真弓 何？ 好きだったとか？

畔上 何でここに來る人はそんな話ばかり。

真弓 ごめんごめん。で？

畔上 奥村さんって、奥村文乃さんですよ？

真弓 うん。ちゃんと覚えてるじゃない？

畔上 私の記憶が正しければですけど、奥村文乃さんは、5年前に亡くなって

ますよ？

真弓 え？

【BGM】

○三幕三場

【照明…ネオン】

路地裏。

酒の缶を持って歩く壮二。
そこに遠藤が現れる。

遠藤 よお名探偵。

壮二 え？

遠藤 とぼけんなよ名探偵！

いきなり壮二を殴る遠藤。

壮二 すいません。私、何も。

遠藤 桂光秀だよなあ！

壮二 違います違います！

遠藤 俺は蝦蟇口組の遠藤つてもんだ。なあ名探偵。俺がわかるよなあ？

壮二 待ってください！ 勘違いですって！ 桂光秀は、ほら、（スマホをい

じって）この人ですよね！

遠藤 あ？

壮二 た…確かに私も探偵業をやってますけど、全然！ 全然違います！
私は浮気調査とか、猫探しとか。

遠藤 猫探しい？？

壮二 とにかく！ 顔が！ ほら！ ね！ 全然違うじゃないですか？

遠藤 （スマホを取り出す）これ。読めるな？

壮二 ……。

遠藤 読め！

壮二 ……桂光秀。

遠藤 そう。今からここに電話をかける。お前が桂光秀じゃないってんなら、お前のスマホが鳴るなんてことはないよなあ？

壮二 ……。

遠藤 かけるぞ。

壮二のポケットから音が鳴る。

遠藤、壮二を蹴飛ばす。

遠藤 ほらテメエのスマホが鳴ったぞ！ どういうことだ名探偵さんよお！

壮二 し…知らない！ はめられたんだ！ 誰かに！ 桂光秀なんて知らない！

遠藤 この後に及んでまだ言うかテメエ！！

壮二 知らないんですってっば！

遠藤 そこまでしらばっくれるなら、ちよつと顔貸してもらおうか？ 徹底

的に調べてやつからよお！

壮二 調べたって何も出てきませんって！

遠藤 うるせえー！

遠藤、壮二を蹴飛ばす。

遠藤、スマホを出す。

遠藤 俺だ。車、路地裏回せ。桂光秀を見つけた。本人は否定してるが、電話が鳴った。事務所に連れてって洗いざらい吐かせるぞ。桂光秀を味方につける。

壮二 だから私は。

遠藤 うるせえつつってんだろが！

遠藤、壮二を蹴飛ばす。

遠藤 ちよつと黙って待ってる！ 今、迎えが来るからよ。

そこに芳香の声。

芳香 こっちです！ こっち！ こっちで人が襲われて！
遠藤 ちっ！

遠藤、去る。

芳香、入ってくる。

芳香 壮二さん！ 大丈夫ですか？

壮二 助かった。

芳香 何なんですか今の？

壮二 蝦蟇口組の遠藤と名乗ってました。

芳香 蝦蟇口組？

壮二 どうやら、名探偵は俺をご指名らしい、ですね。

芳香 ご指名？

壮二 こっちのスマホの番号が、あいつに桂光秀として登録されていました。

芳香 え？ どうして？

壮二 知らないですよ。

芳香 嵌められたの？

壮二 さあ？

間。

芳香 ねえ病院行かなきゃ。

壮二 いや、大丈夫。

芳香 え？

壮二 折れたりしてないですから。

芳香 でも。

壮二 あーあ。なんでこんな目に。

芳香 警察に行った方が。

壮二 いや、俺は桂光秀に会いに行きますよ。

芳香 ええ？

壮二 気は進まないですけど、やりますよ、素行調査。

芳香 どうして？

【BGM】

壮二 蝦蟇口組が俺を襲ってきました。もう俺に平穩なんてないですよ。真弓に連絡してもらえますか？ 「あなたはサイコーのお嫁さんですね。」って。芳香 え？ 何それ？

【照明・暗転】

○四幕一場

平井探偵事務所。

真弓と玉城。

【照明・探偵事務所】

真弓 あら、いらっしやい。

玉城 ご無沙汰してます。奥村文乃さん、こちらにいらっしやいますよね？

真弓 え？

玉城 いらっしやいますよね？

真弓 いたらどうするの？

玉城 畔上さんからお話を聞きました。

真弓 ちよっと落ち着いて。あなたを待ってたの。

文乃が入ってくる。

文乃 この人が玉城？

真弓 そう。

文乃 ふーん。

玉城 あなたは誰ですか？ 奥村文乃さんは5年前に亡くなっています。な

ぜ彼女の名前を語るのですか？

真弓 あなたが心配だから。

玉城 私が心配？

真弓 私ね、心配事はもう全部解決しておきたいの。あなた今、ずいぶん危な

い橋を渡ってるみたいじゃない？

玉城 私の何を知ってるって言うんですか？

文乃 あんま先生に逆らわない方がいいよー。この人めっちゃ賢いから。

真弓 そんなことないって。

文乃 私もあんたと一緒なの。

玉城 え？ じゃあ、先生の？

文乃 そ。村上貴子。よろしく。

玉城 村上さん、も、先生に整形してもらって別人に？

文乃 そういうこと。

玉城 そう、だったんですね。でもなぜ奥村文乃の名前を？

真弓 んー。そうねー。順を追って話そうかな。

玉城 順を、追って？

真弓 さつき心配事はもう全部解決しておきたいって言ったでしょ？ 急な

話で申し訳ないんだけど、実はね、なんか私、肺動脈性肺高血圧症で余命「10年」なんだってさ。……自分でも信じられないけどねー。だからね、それ知ってさー、なるべく私がいらない後の私の周辺を幸せにして去りたいって思ったのよねー。エゴかもしれないけど。

玉城 それが奥村文乃とどう繋がるんですか？

真弓 ほら、やつぱり、2人は人生変える瞬間に立ち会ってるというか、私が

人生変えてるというか、そんな部分があるからさ。

玉城 えーと、村上さんはどうして？

文乃 どうしてって？

玉城 いや、整形を。

文乃 私、昔「桂光秀」と付き合ってたさ。

玉城 桂光秀って。

文乃 そ。あのクソ名探偵ね。

玉城 はあ。

文乃 ま。フラれちゃったんだけどさー。なんか私？ 思ってた以上にアイツのこと好きだったみたいで？ 危ない方に進んでくアイツのこと追っかけてるうちに自分まで危なくなっちゃってさあ。

玉城 危なく……。

文乃 信じられないよね？ こう見えても私、アイツに会う前は生徒会とか

やるキャラだったかんね。

玉城 (少し笑う)

文乃 何笑ってんの？

玉城 ごめんなさい。共感しただけです。

文乃 はあ？

真弓 それであなたと同じく中村広司、黒猫さんの紹介でうちに来たってわけ。顔を変えて、新しい自分になって。

文乃 そこそこ楽しくやってたのにさあ、桂光秀が急に連絡なんて寄越すから。

真弓 で、たまたま貴子ちゃんが連絡くれて。あなたにも早く会いたかったんだけど、名前も連絡先もわからないから、この子に「奥村文乃」になってもらってね、色々動いてもらったの。みんなで「桂光秀」を懲らしめようって感じかな？

玉城 どうしてそんなに「桂光秀」にこだわるんですか？

真弓 私も「桂光秀」と付き合ってるから、かな。

玉城 ええ？

真弓 ねえ玉城さん、あなたは今何をしてるの？ 5年前、「奥村文乃」だったあなたは今、「玉城妙」として、何をしてるの？

玉城 ……真弓さん。私、真弓さんには感謝してるんですよ。5年前、もう死ぬしかなかった私に、もう一度生き直す機会をくれて。

文乃 どうして「奥村文乃」は5年前に死ぬことになったの？

玉城 そんなに大した話じゃないですよ。ただの復讐です。

文乃 復讐？

玉城 1人の女として、世間に対する孤独な復讐。年齢も偽って、男を騙してお金をとって生活をしてました。

真弓 福田社長もその一人だったってこと？

玉城 いや。

真弓 どうして殺したの？ 畔上くんはあなたを庇ってるんでしょう？

玉城 私は……。

真弓 (写真を一枚取り出す) この写真、あなたでしょ？

玉城 それ。

真弓 これも復讐？

玉城、真弓、文乃、静止。

○四幕二場

地下駐車場。壮二、芳香。

【照明…地下駐車場】

芳香 壮二さんって桂光秀とどういう関係なんですか？

壮二 関係？

芳香 赤の他人がこんな風に巻き込まれたりします？

壮二 ……。

芳香 何か隠してないですか？ 真弓さんだって、全部知ってるって！

壮二 別に、隠してませんよ。

芳香 それ、隠してるやつ of の言い方ですね。大体いつまで私に敬語で話すんですか？ 距離取られてる感半端ないんですけど！

壮二 距離を取ってるんですよ。

【BGM】

芳香 なんでですか？

壮二 そういう芳香さんこそ何か隠してるんじゃないですか？

芳香 えー？ 何ですか急に。

壮二 言いましたよね？「バーで知り合ったどこにでもいそうな女性がとんでもない秘密を抱えていた。」

芳香 はい？

壮二 いつものバーで知り合いましたよね。

芳香 ああ！ そういえばそうでしたね。

壮二 そこでアルバイトの話が決まりました。

芳香 そうでしたね。

壮二 話は盛り上がりしましたが、俺が警戒を解くとも思いました？

芳香 え？

壮二 質問を返します。「芳香さんは桂光秀とどういう関係なんですか？」

芳香 ありや。バレてましたか。

壮二 遠藤に襲われた時のタイミングはあまりに良すぎましたね。

芳香 ああ！ そこですか？ だって壮二さんあのままじゃ蝦蟇口組に拉致られちゃうから。

壮二 蝦蟇口組とは繋がってないんですか？

芳香 まあ、繋がってない訳じゃないですが、蝦蟇口組は敵ですね。

壮二 桂光秀は？

芳香 私は桂光秀の助手です。

壮二 なるほど。

芳香 でも飽きちゃったんですよー。

壮二 飽きた？

芳香 あの人のいるより壮二さんという方が楽しいというか。

壮二 楽しい？

芳香 私、わかりますよ、壮二さんの考え。一度きりの人生ですもんね。ギリギリのラインまで楽しく生きたいじゃないですか。

壮二 それで桂光秀の助手に？

芳香 まあそんな感じですよ。

壮二 変わってますね。

芳香 真面目なやつは探偵の助手なんてやりませんからねー。

壮二 そりゃそうですね。俺の話はどこまで？

芳香 教えてくれないんですよあの人。そのくらい自分で調べられなきゃ助手失格だって言うんです。

壮二 ……じゃああの時のリアクションは本物？

芳香 あの時のリアクション？

壮二 スマホの番号が「桂光秀」として登録されてたことを話した時。

芳香 そう！ なんでなんですか？ それ？

壮二 ……桂光秀の目的、いや、芳香さんがここに来た目的はなんですか？

芳香 え？ それ言うんですか？

壮二 桂光秀の助手は飽きたんですよね？

芳香 飽きましたけどー。

壮二 芳香さんの行動原理は「ギリギリのラインまで楽しく生きる」ことですか？

芳香 まあ。そんな感じですね。

壮二 じゃあ、こんなのどうです？ 二重スパイ。

芳香 ほうほうほうほう。興味ありますね、それ！

壮二 表向きは桂光秀のスパイを続けながら、裏では俺のために動いてもらいます。どうですか？

芳香 なかなか興味ありますよ。成功報酬は？

壮二 桂光秀はいくら出すんです？

芳香 50万円。

壮二 なら60万円はどうですか？

芳香 あんまり増えてないですね。

壮二 桂光秀が50万円も出すはずないです。いいところ30万円。倍もらえたら十分じゃないですか？

芳香 ちよつとミスりましたね。

壮二 抜け目がないですね。

芳香 いいですよ。60万円。文句ありません。

壮二 決まりですね。

芳香 はい。これからも仲良くやりましょう。

壮二 で？ 桂光秀に言われた芳香さんの目的はなんですか？

芳香 正式に手を組んだんです。敬語は外してくださいよ。

壮二 ……芳香さんの目的は？

芳香 びっくりしますよ？

壮二 びっくり？

芳香 「壮二さんと真弓さんを離婚させてくれ！」って。

壮二 はあ？

芳香 別れさせ屋みたいなことですね。

壮二 本気で？

芳香 本気と書いてマジです。

壮二 あいつなら、やりかねないか。

芳香 今度はこっちの番ですよ。桂光秀と壮二さんはどういふ関係なんですか？

壮二 桂光秀と俺は二人で一つだった。

芳香 はい？

芳香、壮二、車に乗り込み、静止。

【BGM】

○四幕三場

車中。遠藤、畔上。

壮二、芳香、出てきて座る。

畔上は身体を縛られている。

【照明・車】

畔上 どういうつもりですか！ あなたは誰なんですか？

遠藤 蝦蟇口組の遠藤綾人。「いずれヤクザのトップになる男。」なんてね。

畔上 蝦蟇口組。

遠藤 俺はさあ、まどろっこしいのは嫌いなんでねえ。

畔上 こんなことして許されると思ってるんですか？

遠藤 （無視してスマホを取り出して電話する）よお、俺だ。今から軽井沢へ

向かうぞ。どこにいる？ （電話を切られる）あ？ なんだ？

畔上 誰ですか？

遠藤 玉城妙。

畔上 え？

遠藤 お前のこともバレてんだぜ？ 畔上遊助。

畔上 何の話です？

【着信音】

遠藤 おい、どうして切った？ ああ？ 電波？ こっちのせい？ わかっ

たよ。で？ どこにいる？ ああ。わかった。今からピックアップしてやる。

何するかって？ お前の身の安全をより強固にしてやんのさ。

畔上 身の安全？ どういうことだ？

遠藤 うるせえ！ 電話中だろうが！ ああ？ （笑って）あーあ。サプライ

ズのつもりだったのに。バレちまったか。後で感動のご対面と行こうぜ？

○四幕四場

【照明…車2】

壮二、芳香。車中。

壮二 明智小五郎って知ってるでしょ？

芳香 はい。江戸川乱歩の。

壮二 明智小五郎って名前は、歴史上の人物「明智光秀」と「桂小五郎」からきてる。

芳香 へえ！ そうなんですね！

壮二 だから俺たちは「桂光秀」と名乗ることにしたんだ。

芳香 桂光秀ってグループ名ってことですか？

壮二 まあ、そんなところ。「桂光秀」の表の顔は「あいつ」岩井太郎。裏の顔は俺。あいつはマスコミと繋がりが、表だって事件現場に赴き、俺は蝦蟇口組と繋がって情報をあいつに流す。

芳香 え？ 待ってくださいよ。じゃあ「桂光秀のマッチポンプ」って。

壮二 そう。俺と岩井太郎と一緒にやってたこと。中村広司という刑事の協力を得てね。

芳香 黒猫さん。

壮二 そう。元々真弓には内緒でやってたことだし、広司さんが死んだタイミングで俺は足を洗ったつもりだったんだけど、「あいつ」はそのまま蝦蟇口組と繋がって一人で「桂光秀」を続けたってわけ。

芳香 な、なるほど。

壮二 で、俺を離婚させる？ なにそれ？

芳香 なんだそりゃ？ ですよ。全くわかりません。

壮二 それで浮気させたがってたの？

芳香 まあ。

壮二 芳香さん、それは下手くそだね。

芳香 知らないですよ上手なやり方なんて！

壮二 まあ、あいつのことだ。何か裏の目的がある気がするけど。

芳香 どうするんですか？

壮二 知らない仲じゃないからね。直接聞くよ。(スマホを出す。)

○四幕五場

【照明…車3】

フクダの別荘。桂、中村。

桂 畔上が脱走？

中村 はい……。先ほど連絡が入りました。

桂 くそっ！ あのバカ！

中村 なぜこのタイミングで？

桂 玉城妙か？

中村 玉城妙に危険が及ぶからってことですか？

桂 畔上は罪を受け入れようとしている。脱走するメリットはない。なのに脱走したってことは、庇おうと思っていた相手を庇えなくなったってことだ。もしくは本人の意志に反して連れ出されたか。

【車の止まる音。車のドアの閉まる音。】

【照明…錯綜】

中村 噂をすれば、ですかね？

桂 いや。

中村 え？

壮二と芳香が残る。

○四幕六場

【照明…別荘】

【BGM 環境音】

そこに壮二と芳香が入ってくる。

桂、壮二にベタベタ触りながら。

桂 来たな、壮二！ 待ってたぞ！！ ええ！ おい！
壮二 何が待ってただよ！ 変なことに俺を巻き込むなよ！ ヤクザ崩れが。
桂 会いたかったぜ！ 相棒！
壮二 もう相棒じゃないし、相棒だと思ったことはない。
桂 寂しいこと言うじゃねえかよ！
壮二 寂しい？ そんな感情がお前にあるのか？
桂 ああそうだろうだ！ こいつ！ わかるか？ 広司さんの娘だ。娘も
レノアの時に現場にいたんだよ。びっくりだろ？
壮二 広司さんの娘？
中村 あ、はい。中村穂波と言います。あの、以前探偵事務所に畔上の件で。

間。

中村 あ、あの？

壮二、黙って土下座をする。

中村 あの、やめてください！

壮二 申し訳ございません。私のせいで広司さんは。

中村 え？

壮二 ああ。なんとお詫びをすればいいのか。

桂 お前のせいじゃない。変な真似はよせ！

壮二 だけど。

土下座してる壮二を蹴飛ばす。

芳香 何するんですか！

桂 やめろ！ 懺悔・後悔。弱い人間のすることだ。お前には似合わない。

壮二 そんなことはない。俺は弱い人間だ。

桂 やめろやめろ！ お前の口からそんな言葉は聞きたくねえ！

中村 あの、お二人の関係って。

芳香 二人で一つだったんですって。

桂 ああ？

芳香 「桂光秀」は二人のチーム名。二人でマッチポンプ探偵やってたみたいですよ。

中村 二人で？

芳香 あれ？ 知らないんですか？ あなたのお父さんは、この二人と、そして蝦蟇口組と協力して蝦蟇口組に敵対する勢力を潰してたんですよ？

中村 桂さん？

壮二 昔の話はいい。今起きてる事態を説明してくれ。

中村 よくないですよ！ どうして二人は「二人」で「桂光秀」なんですか？

桂 相棒だから！

中村 もうそれはいいですって！

壮二 地元の古い仲間だったんです。

中村 古い仲間？

壮二 広司さんとはその頃に知り合いました。

桂 何回も補導されるうちに仲良くなってな。

中村 そこからどうやって、二人は「桂光秀」になるんですか？

壮二 こいつが行き過ぎたんです。

中村 行き過ぎた？

壮二 俺は結局、探偵事務所なんてところに落ち着いたんですけど、こいつは違いました。

中村 何をしたんです？

桂 こいつが探偵なんて始めちゃってよ。やることねえから喧嘩に明け暮れてたのよ。なんか楽しいことねえかなあってさ。そしたら気づいたら鵜堂

会の構成員になった。

中村 鵜堂会？

芳香 桂光秀が元ヤクザ？

壮二 はい。入るだけならまだマシです。こいつは鵜堂会と喧嘩して組を抜けて俺のところに戻り込んできました。

芳香 名探偵、ダサ！

桂 ああ？ 違いよ。計画通りだ。元々鵜堂会に長居するつもりはなかった。欲しかったのは情報だからな。

中村 情報？

桂 俺も壮二も、ヤクザにはちよつとした恨みがあつてな。復讐のチャンスを窺ってたんだ。

壮二 俺は窺つてない。

桂 大人ぶるんじゃないよ！ 俺らあの頃から変わってないだろうがよ！

壮二 ああ、変わってない。俺はずっと今と同じだ。

桂 ああ？

壮二 とにかく、鵜堂会からこいつを守るために俺と広司さんは「桂光秀」という名探偵をでっち上げて、蝦蟇口組の庇護の元、こいつが自由に動けるようにしたんです。広司さんの伝手でこいつの顔も変えてもらいました。

芳香 顔変えたんなら逃げればよかったじゃないですか？

壮二 こいつが言うこと聞くならそうしてましたよ。

中村・芳香 ああ、それはそうですね。

会釈する中村と芳香。

桂 なんでせつかく鵜堂会に潜入して内部事情がわかつたつてのに、逃げ出さなきゃいけないんだよ！ 潰すチャンスだろうが！

壮二 「桂光秀」は俺のアイデアです。俺がそんなことを言い出さなければ、

広司さんもあんなことにはならなかった。

桂 何言つてんだ？ 広司さんも、乗り気だつただろ？

中村 どうして？

桂 あの人は知つてたんだ？ 綺麗な手段じゃ汚いもんは潰せないって。

そして未来を見てた。

中村 未来を？

壮二 未来を見てた、ね。

桂 なんだよ？

壮二 別に。

中村 でもお父さんは確かに喜んでた。「飛び道具」を手に入れたつて。

桂 そう。広司さんには本当に世話になった。だからその恩は返さないといけない。

中村 恩を返す？

桂 実だよ！ 壮二！ 俺は今回、今の蝦蟇口組を潰そうと思つてる。な

あ、手を貸せよ！

壮二　はあ？ ……おい、待て。どういうことだ。それで俺が狙われたのか？俺を蝦蟇口組に売ったのか？ 広司さんへの恩って言ったよな。俺への恩はどうなる？ 仇で返すのか？

桂　知らねえよ。俺はただ蝦蟇口組の構成員に「桂光秀は元々2人組だった。その片割れが蝦蟇口を潰すでかいネタを持っている。大きな事件が起きるからそのチャンスを狙えば出世できるぞ。」と吹き込んだだけだ。

壮二　てめえ！！！！

壮二、桂を殴る。

桂　いいね！ そう来なくっちゃ！ 昔はよくお前に殴られたもんだ！ほおら、もうお前は動かざるを得ないぞ？

壮二　なんでそんなこと吹き込んだ？

桂　俺だって一発で蝦蟇口を仕留められるとは思ってない。半分だ。まずは半分でいい。だからそのために、蝦蟇口の派閥争いを激化させんだよ。「桂光秀」は今の組長側だ。反対する勢力は、「桂光秀」を味方に引き込むかもしれないだろ？

壮二　二つの派閥が「桂光秀」を殺（と）りにきたらどうするんだ？

桂　そんな時はそんな時だろ？ 博打打たずに勝つつもりか？

壮二　お前のせいで俺は蝦蟇口組の遠藤ってやつに拉致られそうになった。

桂　でも、生きてる。生きてここにいる。まず最初の博打に俺は勝った。

壮二　博打は勝ち続けられるもんじゃない。

桂　じゃあやめるか？ 違うな？ 一回始めたら勝ち切るまでやるのが博打だ。

壮二　俺はお前みたいに一線を超えるつもりはない。

桂　ダメダメ。

壮二　は？

桂　お前はこっち側だよ。今から遠藤がここに来る。フクダの事件を解決するのはお前だ。

壮二　俺に何をさせるつもりだ？

桂　猫探し。

壮二 猫探し？

桂 お前の得意分野だろ？

壮二 この事件に猫がどう関わる？

桂 福田社長は猫好きで有名だったからなあ。

壮二 それが？

桂 説明は後。やるかやらないか？ それが先だ。

壮二 やらないと言ったら？

桂 ……中村刑事。

中村 何？

桂 銃を出せ。

中村 は？

桂 銃を出せ！

中村 どうして。

桂 お前の目的のためだ。広司さんの仇を打つんだろ？

中村 でも。

桂 面倒くせえな！ 迷う場面じゃねえだろうが！

桂、渋る中村を襲い、銃を奪う。

桂 やらないと言ったら？ いや、お前はやるしかない。

桂、銃を芳香に向ける。

芳香 え？

桂 やらないと言ったらこいつを撃つ。

中村 何言ってるんですか！ 桂さん。

桂 大切な助手だろ？

芳香 え？ 嘘ですよね？ まさか本気で撃つわけ。

【銃声】

桂 脅しじゃない。わかるな？ 相棒？ こういう時の俺は本気で撃つ。

壮二 ……わかった。言う通りにしよう。

【BGM】

【照明…錯綜】

走り回る壮二。

○五幕一場

【照明…別荘】

フクダの別荘。桂、中村。芳香。

桂 （笑いながら）走れメロスだな。果たして壮二は間に合うか。

芳香 名探偵「桂光秀」がこんな酷いやつだとは思いませんでした。

桂 中村もそう思うか？

中村 ……。

桂 思わねえよな。これはお前の親父の、広司さんのやり方だ。目的のために手段は選ばない。必要になれば、法も犯す。資金調達のために薬も売る、拳銃も売る。身内のスキャンダルも売る。

中村 私は、お父さんが正しいとは思ってない。

桂 じゃあなんで俺と組む？ 勝手についてきたのはそもそもお前だ。

中村 そうですね。

芳香 純粹に疑問なんですけど、そもそもどうして中村広司はそんな危ない橋を渡りながら、刑事をやってたんですか？

桂 気になるよなあ？ 俺も気になって聞いたことがある。中村はわかるか？

中村 さあ、聞いたことないんで。

桂 俺は聞いて笑ったねー。頭のいい人間が嫌いなんだとよ。

中村 頭のいい人間が嫌い？

芳香 それがなんでヤクザを倒すことに繋がるんですか？

桂 ヤクザを倒すんじゃない。利用するんだ。ヤクザの力は暴力の象徴。頭のいい連中にはいい薬になる。

芳香 桂さんはバカなんですか？

桂 ああ。バカだ。バカを自覚してる。だからこそ、俺は他人の協力を躊躇わない。広司さんにできることは広司さんに、壮二にできることは壮二にやってもらおう。俺にはできないことだからだ。

中村 でもお父さんは暴力に負けました。

桂 ……。

中村 お父さんの言ったことは理解できる。でも、暴力に訴えたって、頭が良くてずるい人間は別の暴力を持つてくるだけじゃないんですか？

桂 ああそうだな。だから世の中は早いもん勝ちの戦争なんだよ。

中村 納得できません。

桂 世の中に納得できることなんかあるかよ。壮二みたいに納得したフリをして生きるか、俺みたいに一生争うかの2択だろ？

○五幕二場

そこに真弓が現れる。

芳香 真弓さん！

桂 どうしてここに？

真弓 来ちゃった！

芳香 来ちゃったじゃないですよ！ どうして！

真弓 桂光秀を懲らしめに、ね。

桂 ああ？

文乃が入ってきて、桂にお金を投げつける。

桂 何だテメエ。

文乃 これで私が動くと思ったの？

桂 あ？

文乃 バカにしないでよ！

桂 あーあー。もったいねえな。(金を拾いながら)実弾は貴重だぞ。

文乃 虚しくない？

桂 何が虚しい？

文乃 こうやって顔合わせても、もう昔が思い出せないしね。

桂 昔なんか思い出す必要はない。

文乃 でも、今ならまだ引き返せるかもよ？

桂 引き返すつもりがない。

文乃 あなたのマッチポンプをマスコミにリークする。

桂 あ？

真弓 貴子ちゃんは本気だからね。

桂 お前もそっち側か？

真弓 言ったでしょ？ 「桂光秀」を懲らしめに来たって。

桂 面倒くせえな！ 撃つぞ？

文乃 撃てば？

桂 ……。帰れ。今からここは戦場になる。お前みたいな一般人の来るとこじゃねえんだよ！

文乃 私、戦場でも平気。あなたのおかげで平気になった。あなたのおかげで、だいぶ強くなったから。だから私、帰らない。

中村 誰なんですか？ この人。

芳香 桂光秀の元恋人です。

中村 ええ！

桂 うるせえ！ 黙ってる！

芳香 真弓さん！ 真弓さんは知ってたんですね！ 「桂光秀」は二人で一人だった！

桂 なんだ？ 知ってたのか？

真弓 あなた一人じゃあんなことできない。

桂 そりゃそうか！

真弓 一緒に暮らしてるんだもん。協力してたらわかるよ。

桂 俺もそう思うぜ？ けどあいつが隠したがったからな。

真弓 やっぱり夫婦って喧嘩した方がいいのかもね！

桂 思ってること言わねえよりは、腹ん中全部ぶちまけたほうがうまくいくだろ？

真弓 そうね。おかげで壮二とは仲直りできた。次はあなたの番。

桂 俺はもう、真弓ともその女とも話すことはない。

文乃　じゃありークするから！

桂　リークしてどうする？　それが何になる？　俺は警察上層部とも繋がってんだ。お前程度のリークじゃもみ消されて終わりだ。

真弓　……壮二は？

芳香　桂さんの依頼を実行中です。すいません。実は私、人質にされちゃって。人質？

桂　あいつが嫌がるからさ。ほんの冗談だ。

芳香　本気で撃ったじゃないですか！

真弓　依頼って？

桂　猫探しだ。あいつの得意分野だろ？

真弓　猫探し？

桂　悪いが、先生にはあんまりこの件に首突っ込んで欲しくねえな。蝦蟇口組を潰すって聞いたけど？

真弓　さすが、情報が早いな。ああ。その通りだ。

桂　あなたはいつも猪突猛進すぎる。詰めが甘い。

真弓　あ？　どこが甘い？

芳香　真弓さん？

真弓　(写真を取り出して)この写真、知ってた？

桂　玉城？

芳香　玉城？　この人が玉城？

真弓　この写真が何を意味してるかわかる？

桂　こいつ、この男、誰だ？　どっかで見たことあるぞ。

真弓　四菱商事の役員。

桂　何？

真弓　そしてこの子と、今からあなたの会う遠藤綾人は繋がっている。

桂　玉城と遠藤が？　どういうことだ？　フクダから蝦蟇口に金を流してるのは玉城じゃないのか？

真弓　玉城妙がやっていたのは、むしろ逆。フクダを通して蝦蟇口組のお金を四菱商事に流してた。

桂　バカな。

真弓　だから詰めが甘いって言うてんの。

中村　それって、四菱商事が蝦蟇口組から賄賂を受けてるってことですよ

ね？ 大問題ですよこれは！

真弓 話は三菱商事だけじゃ済まないかも。きっと政治家も出てくる。

芳香 政治家まで？

桂 ありがとよ真弓。そりゃ大チャンスじゃねえか！

真弓 あなた一人じゃ何もできないでしょって言うてんの！

桂 だから心配して駆けつけてくれたのか？ 運は俺についてるってことだ。

真弓 痛い目見るよ？

桂 痛いくらい平気さ。

中村 どういうことですか？

桂 俺は元々遠藤を使って、今の蝦蟇口を半分潰すつもりだったが、話が変わったってことだ。うまくやりやどっちも潰せるぞ。

中村 どっちも潰すってどういうことですか？ 遠藤さんを裏切るんですか？

桂 ハナから組んだつもりはねえよ。

中村 危なすぎます！ まずは半分からでも！

桂 こんなチャンス滅多にないだろうが！

文乃 バカじゃないの？ 逆でしょ？

桂 だから優等生気取りのバカはわかってねえんだ！

文乃 何それ！ 政治家や大企業まで絡んでるなら、もう太郎一人にどうこうできる問題じゃないでしょ！

桂 俺はいつだってどうこうできねえような問題をどうこうしてきた。壮二と一緒にな！ だから壮二がいりゃあ、まだやれる！

文乃 昔はそこまでおかしくなかった。

桂 それはお前の主観だ。

真弓 壮二に頼んだ猫探して何？

桂 大したことじゃない。玉城妙を犯人として確保するためにはその証拠が必要だろ？

中村 福田社長の死因は警察発表では転落死になってますけど、実際は撲殺だったんです。でも現場からは凶器は見つからなかった。

桂 だから凶器を見つけてもらおうと思っよお。

真弓 猫が凶器？

桂 いや。

○五幕三場

玉城と遠藤。遠藤に銃を突きつけられた畔上がやってくる。

遠藤 よお名探偵。面白そうな話してるじゃねえか、俺も混ぜてくれよ。

中村 遠藤さん。

桂 相棒の拉致に失敗したらしいじゃねえか。

遠藤 ああ？ こっちはお前にのって、わざわざ敵対派閥方々にまで連絡先を聞きに行ったんだぜ？ 拉致の失敗くらい多めにしろよ。

真弓 あなたが壮二を？

遠藤 ああ。そうだ。

真弓 刑事さん、この人今すぐ逮捕できないの？

中村 いや、それは。

遠藤 無理無理。で？ さっきの話の続きだが、桂、お前、ちよつと首突っ込みすぎたな。

桂 ああ？

【銃声】

跪く桂。慌てる周囲。

芳香 桂さん！

桂 ぐ……。

中村 何してるんですか！ 遠藤さん！

遠藤、桂に近づいて、蹴りとばす。

桂 があああ！

のたうちまわる桂。

中村 遠藤さん！ いくらなんでもやりすぎです！
芳香 早く警察と救急車を！

【銃声】

遠藤 考えろ？ 警察と救急車が来るのと、俺がお前らを撃つのとどっちが早いかな。大丈夫。死にやしねえよ。銃の扱いは慣れてる。「桂光秀」の名前は使えるからな。思い上がりの探偵にどっちが上かわからせてやってるだけだ。

桂を足蹴にする遠藤。

【BGM】

桂 ぐ！

遠藤 お前、一丁前に俺と取引しようとしたのか？ 甘いな。そんな優しい世界じゃない。お前の持つてる情報は全て俺も持つてる。

桂 な…に？

遠藤 お前は元々、俺を担いで今の蝦蟇口組を半分潰そうとしていた。それだったら、まあ俺もお前の言うバカのフリをし続けよう。俺とお前はウインウインの関係だ。だけどな探偵さん、俺を含めてまるっとうちを潰す方針に切り替えたなら話は別だ。

桂 (無言で芳香、文乃、真弓、中村を見る)

遠藤 (スマホを出す) 見えるか？ 名探偵。

桂 くそ。(スマホには中村穂波の文字。桂、中村を見る。)

芳香 桂さんを裏切ったんですか？

中村 ……裏切った訳じゃありません。

芳香 じゃあどうして？

桂 上層部に切られたのは、俺か。

中村 桂さんが悪いんですよ！

桂 何が悪い。

中村 桂さんがうまくやらないから！

桂 不吉の象徴。

中村 え？

桂 (笑って) 広司さんみてえな物言いだな。

遠藤 穂波ちゃんを悪く言うのはやめとけよ。仕方がなかったんだこれは。さつき言ったら？ 敵対派閥「方々」にまで「桂光秀」の連絡先を聞きに行ったって。

桂 方々って、てめえ。

遠藤 そう。中村広司が死んだ後、お前が付き合ってた警察上層部の連中にも話をしに行った。

中村 それで私が上層部の連中と遠藤さんの前に呼び出されたんです。でも銃で撃つなんて、ここまでやるなんて聞いてません！

遠藤 悪いね穂波ちゃん。でもこうでもしねえとコイツがピーピーピーうるせえだろ？

中村 だからって！

桂 く……。馬鹿野郎が。コウモリかよてめえは。何ひよってんだよ。お前が相手にしてるのはそういう奴らだろ。ぐっ！

中村 黙っててください！

桂 覚悟がねえなら、頭いいフリするんじゃ、ねえよ。……く。

中村 桂さん！

遠藤 おい桂！ 気絶なんかさせねえぞ。

遠藤、桂の傷口を突く。

桂 がああ。

中村 もういいでしょ！

文乃 もうやめて！

遠藤 だから殺しやしねえって。力関係ってもんを教えてやるだけだ。コイツが一生俺の飼い犬になるように、な。

真弓 どうするつもり？

遠藤 さて、どうしようかね。どうする玉城？

玉城 どうするって？ 私はあなたに従うただけけど？

遠藤 さて、(文乃を指して) その女！

文乃 私？

遠藤 話は聞いてたぜ？ お前、桂光秀の元恋人なんだってな。

文乃 だったら、何？

遠藤 ちようど良いじゃねえか。

文乃に近づきナイフを取り出しして置く。

文乃 え？

真弓 どういうつもり？

遠藤 (畔上を指して) この男を殺せ。

文乃 え？

玉城 どうして？

遠藤 どうして？ 何言ってるんだ。わざわざ殺すために連れてきたんだ。ムシ

ヨに入っちゃったら、殺せねえからな。

桂 おい、そりゃ、どういうことだ？

遠藤 これから名探偵様とは仲間になるんだ。教えてやるよ。まず、四菱にうちが資金を流してる件だが、これは俺の仕切りで玉城を使ってやってることだ。この件に関しちや組の派閥もクソもない。でかい案件。失敗はできない。

真弓 でもフクダから蝦蟇口組にお金が流れてるなんて噂が出た。

遠藤 (玉城を指して) コイツがしくった訳じゃないが、潮時だ。そう思ってうちのお偉いさん方は手を引こうとしていたらしいが、調べてびっくり。フクダは鵜堂会とも繋がっていやがった！

真弓 鵜堂会とフクダが？

遠藤 フクダが鵜堂会と繋がってるってことは、うちについてる玉城は鵜堂会から狙われることになる。だから福田社長を殺し、玉城妙には安全なムシヨの中に入ってもらったことになった。隠れ蓑、フクダはこれでおしまい。そして桂、その情報をお前は知った。

中村 誰かが遠藤さんの失脚を狙って桂さんに情報を流した。

遠藤 そういうことだ。びっくりしたさ。玉城じゃなくて、畔上が犯人として捕まってるなんてよ！

文乃 それで、どうして私がこの人を殺さなきゃいけないの？

遠藤 それはこの男が鵜堂会の構成員だからだ。なあ畔上！！！！

遠藤、畔上を殴る。

【BGM】

畔上　ぐ……。

玉城　畔上さんが鶉堂会？

畔上　そうですか。知っていましたか。

玉城　畔上さん？

芳香　畔上さんは福田社長の運転手じゃなくて、ずっと福田社長を見張ってたってこと？

中村　福田社長の近くにいたのは、福田社長を守るため。でもいつから？

芳香　そうか！　フクダが赤字から回復した時！

遠藤　勘がいいな。

芳香　赤字から回復する時にフクダは鶉堂会の力を借りてた。畔上さんはその時から運転手ってことじゃない？　え？　待って。でもそうすると新システムの開発は？

畔上　畔上遊助の功績ですよ。畔上遊助はフクダと鶉堂会に新システムを取り上げられて、殺されたんです。

真弓　ちょっと待った！　そしたらあなたは畔上遊助じゃないってこと？　それはおかしい。あなたは奥村文乃を知ってたじゃない？　本人じゃなかったなら奥村文乃のことを知るわけ。

畔上　私は何者でもなかった。だからこそ、本気になってみたかったんです。

畔上遊助に。何者でもなかった青年が、桂光秀になったように。

桂　……畔上、てめえ。俺を？

畔上　覚えていただけです。あなたの声を。

桂　声？

畔上　組長に啖呵を切る大声を。

遠藤　（文乃にナイフを差し出す。）さあ、コイツを刺し殺せ。コイツをお前が刺し殺せば俺たちは共犯者。元恋人を守るために、桂は俺の言うことを聞かざるを得ない。

桂　てめえ。

遠藤　さあ！　大丈夫。コイツは鶉堂会。後始末はうちの連中がうまくやるさ。

文乃　　する訳ないでしょ！

遠藤　　なら桂が死ぬだけだ。言うことを気かねえならコイツは用済みだからな。
（文乃、ナイフを受け取る。）

桂　　ナイフを捨てる。俺を気にするな。

文乃　　何言ってるの？ バカじゃない？

畔上　　遠藤は本気です。私を刺してください。桂光秀はこんなところで死んじやだめです。

玉城　　畔上さん！ どうして！

遠藤　　なんだ？ 畔上の肩を持つのか？

玉城　　違う！ 違うけどわからないの！ どうしてあなたみたいな人が！

畔上　　さあ、刺してください！

桂　　捨てる！

文乃　　捨てたらあんたが死ぬんでしょ！

桂　　お前俺に復讐に来たんだろうが。

文乃　　殺したかった訳じゃない。

桂　　俺は、お前を利用してただけだ。

文乃　　……捨てない。

桂　　お前になんか惚れちゃいなかった。

文乃　　捨てない！

桂　　頭の固い優等生ぶった女はコントロールしやすいんだよ。

文乃　　捨てられる訳ないでしょ！

遠藤　　何ごちやごちや言ってるやがる！ やらなきゃ桂は死ぬぞ！

畔上　　さあ！ 早く！

文乃、畔上へ向かう。

桂　　やめろ！

真弓　　（文乃の前に立ち塞がって）ダメ！ 私がやる！

遠藤　　ダメだ！ お前じゃ桂の足枷にならねえ！

真弓　　この子にはやらせない。

文乃　　先生どいて。

真弓　　どかない！

桂 俺のことは放つとけって言ってるんだろ。
文乃 放っておける訳ないでしょ！
遠藤 カッコつけんじやねえよ。命乞いぐらいついてみたらどうだ？
桂 糞食らえ。

【銃声】

倒れる桂。

悲鳴をあげる文乃。

遠藤 誰だ！
芳香 え？

○五幕四場

ゴミ袋を持った壮二が現れる。

壮二 威嚇射撃のつもりだったんだけど。

【BGM】

遠藤 ヘボ探偵。
壮二 その節はどうも。
真弓 壮二。
芳香 どうして銃を？
壮二 昔とったなんとかってやつ。護身用にとつといたの。
文乃 撃ったんですか？ どうして！
壮二 撃ってないって。威嚇射撃だって。銃声に合わせてそのバカが倒れただけ。
け。
遠藤 何？
桂 おいおい。ネタバラシが早えよ。相棒。
壮二 知らないっての。

桂、立ち上がる。

中村 桂さん！もしかして防弾チョッキ？

桂 ……んなもん持ってねえよバカ。気合いだ気合い。相棒の登場に蹲ってらんねえだろ？

芳香 野生児。ゴキブリ並の生命力。

桂 なんか言ったかテメエ？

芳香 いえ。何も。

遠藤 テメエ状況わかってんのか？

壮二 それが全く。猫探しをしていたもんですから。

遠藤 猫？

壮二 真実はいつも大抵ぐちゃぐちゃってやつです。

遠藤 何を言ってる？

壮二 真弓、嬉しい？

真弓 何が？

壮二 うん。俺はやっぱりちよつとおかしいのかもしれない。それを真弓の方がわかってた。

遠藤 何をぐちぐち言ってるやがんだお前は。

壮二 蝦蟇口組の遠藤さん？もしですよ、もし、福田社長を殺したのが玉城妙じゃなかったら、どうします？

遠藤 何？

桂 玉城じゃないだと？じゃあ誰だ？

壮二 名探偵桂光秀の推理だと、犯人は玉城さんということになっていますが、福田社長の死因は撲殺です。玉城さんが犯人。つまり計画的な犯行なら撲殺の選択をするでしょうか？ どうせ逮捕されるつもりだったんです。毒殺や刃物が手っ取り早いでしょうか？

遠藤 どうして撲殺にした？

玉城 いや。

壮二 そして現場から凶器は見つかっていない。犯人は凶器を隠した。自分が捕まらないようにしたんです。おかしくないですか？ 逮捕されるつもりで犯人なら凶器を隠すなんてことはしない。

遠藤 ……お前が殺（や）ったんじゃないのか？

玉城 ……私が殺そうとした時、既に福田社長は死んでた。

遠藤 どうして黙ってた？

玉城 刑務所なんて入りたくなかったから。

遠藤 ああ？

玉城 いくら身の安全が保障されてても、刑務所は嫌。

遠藤 てめえ俺が迎えに行くのを待てねえと？

玉城 そうじゃない。もちろん、それしか選択肢がないとは思ってたから、社

長のことは殺す気でいた。

遠藤 じゃあ誰が福田を？

壮二 その答えがこれです。（袋を差し出す。）

遠藤 なんだそりゃ？

壮二 猫の餌です。

遠藤 餌？

壮二 コイツはこの別荘にあるはずのものが無いことに気づいたんですよ。

で、それを俺に探させた。

遠藤 あるはずのないもの？

壮二 猫の餌です。いや、探して笑えてきましたよ。真実もファンタジーも

どうでも良くなるくらい馬鹿馬鹿しい。まさか福田社長殺害の凶器が鯉節だ

ったなんて。（鯉節を取り出す）

遠藤 鯉節？

壮二 ……知ってました？ 鯉節ってギネスで認定されるくらい世界で一番

固い食べものなんです。江戸時代には、釘を打つトンカチがなくて、かわりに

鯉節を使ったなんて小話があるくらいですよ。

中村 じゃあ犯人は鯉節で撲殺して、殺した後に鯉節を削って猫たちに食べ

させたって言うんですか？ そんなことあるわけ。

壮二 そんなわけがないようなことが真実だったりするんですよ。試してみま

す？

遠藤 ふざけてんのかテメエ。

壮二 大真面目です。で、その猫ちゃんたちにあげる鯉節。誰が買ったと思

います？ 社長自身？ 秘書の玉城妙？ 運転手の畔上遊助？ いいえ。正

解は、奥村文乃、いや、村上貴子でした。

間。

壮二 社長の家から開封前の鯉節を見つけて販売経路を遡ったんです。購入者は村上さん、あなたでした。あなたは福田社長の愛人だった。そして猫の世話をしていた。社長は大の猫好き。その餌にも拘る。あなたに鯉節を削って猫たちに食べさせるように指示をしていた。そんなあなただからこそ、鯉節での殺害を咄嗟に思いついた。違いますか？

文乃、ナイフを壮二に突きつける。

壮二 危ないですよ！

壮二、文乃のナイフを叩き落とす。

真弓 どうして？ あなたにとって太郎は。

文乃 そのせいで私はこうなったの！

真弓 え？

文乃 私はこの人を追って鵜堂会に近づいた。自分でも無鉄砲だったと思う。危なくなつて、真弓さんに顔を変えてもらった。でも！ 顔を変えても何も変わらなかった。私は私のままだった。私も玉城さんと同じ！ 本質的には何も変わってなかった！

玉城 村上さん。

文乃 私は結局、太郎を求めて鵜堂会に近づいて行ってしまった。でもそこに太郎はいなくて。

壮二 そこで出会ったのが福田社長だったんですね。

文乃 そう。最初はお店のお客さん。それが次第に仲良くなって。私は社長とそこそこ平和に暮らした。もちろん、鵜堂会とのつながりは切れてない。でも、私はその生活に十分満足してた。そんな時、急に太郎から連絡があった。

畔上遊助を探偵に尾行させてくれて。それで私は先生に連絡した。

壮二 それが畔上さんの尾行依頼。

文乃 1週間、尾行を頼んでるうちに、福田は私を疑った。「探偵を使って何かしようとしてるな。」って「調べたぞ、なんだ平井探偵事務所っていうのは。」

つて。あの人は疑い始めたらとことん疑う人。あの日は別荘に呼び出されて、整形してることや桂光秀との関係、それで口論になって、つい……。

間。

真弓　なんで言ってくれなかったの？

文乃　先生に言ったら、太郎にバレるでしょ？

真弓　なんで。

文乃　太郎にはバレたくなかった。

桂　く、てめえ。言えよ。

文乃　あんたが私だったら、言った？

桂　なんで福田なんかと。

文乃　それをあんたに言われる筋合いはない！

桂　くそ。

文乃　でも、ま、よかったよ。

桂　何？

文乃　あんたのあんな顔見れたから。

桂　……言ってる。

壮二　福田社長は偶然にも殺害計画の日に、別の手段・別の犯人に殺されてしまったんです。遠藤さん、真実はこんなもんです。ぐちゃぐちゃでしょ？

玉城　じゃあ畔上さんは？　畔上さんが、桂に乗っかって捕まった理由はなんなの？

壮二　それは。

畔上　別に。理由なんてないですよ。

玉城　何それ？

畔上　私はただ、玉城さんが社長の死体の前で呆然と立ちすくむ姿を見てしまっただけです。探偵さんがおっしゃるように真実はぐちゃぐちゃです。

玉城　やっぱり私を庇って？

畔上　わかりません。今にして思えば、私が守りたかったのは、畔上遊助だったのかもしれない。

遠藤　おいへボ探偵。てめえずいぶんペラペラペラ無駄話をしてくれたじゃねえか。結局、状況は変わってないだろ？

壮二　そうですね？　桂にとって村上さんは急所にならない。だから畔上を殺させても意味はない。

遠藤　ああ、そうかもな、だったら。

壮二　ずーっと奥村文乃、いや、村上貴子さんとはどこかで会った気がしてたんです。

【BGM】

文乃　え？

壮二　その謎がようやく解けました。倶楽部レノア襲撃事件。遠藤さんはよく覚えてるんじゃないですか？

遠藤　ああ？

壮二　鵜堂会がレノアを襲撃することを事前に知った蝦蟇口組は、その情報を桂光秀に流し、警察を待ち伏せさせた。俺は現場にはいかなかったけど、実は万が一のために隠しカメラをいくつか仕掛けていたんです。でもね、これは自分の事情なんです、その時の映像を見ることができなくて。今回もぶっちゃけ、ゲロゲロ吐きながら映像見てたんですが、そしたらね、そこに村上さんは映ってたんです。レノアの店員として。働いてましたよね？　3年前、あそこで。

文乃　働いてたけど、それが何？

壮二　村上さんのおかげで、レノアの隠しカメラのことを思い出したんですよ。それで何回も何回も、人がもみくちゃになっている様子を眺めています。ゲロゲロ吐きながらね。そしたら発見したんです。遠藤さん、あなたが鵜堂会組長の野口聡と……広司さんを撃つところをね。

遠藤　隠しカメラに映ってたのか。そりゃあ、へマしたな。

桂　遠藤！　てめえ！！　てめえがやったのか？

遠藤　隠しカメラに映ってたなら、そうなんだろうな。

桂　壮二！　こいつを殺せ！　今すぐ！

壮二　殺さない。こいつは法の裁きを受けてもらう。

桂　法の裁きだと？　法なんかでこいつを裁いて何の意味がある？　お前がやらないなら俺が！

壮二　お前にも殺させない！

桂 ああ？

壮二 こいつを殺して何になる？ この先の人生を棒に振る気か？ お前の目的は復讐なんてチンケなもんだったのか？

桂 それとこれとは話が別だろうが！ 今！ お前の目の前に敵（カタキ）がいる！ お前は広司さんの敵を殺したくないのか？

壮二 ああ殺したいさ！ 殺したい！ ぶっ殺してやりたいね！ 俺の感情は今すぐにでもこの引き金を弾ける状態だよ！

桂 だったら！ その引き金を

壮二 引いてどうなる？ この引き金は地獄行きの片道切符だ。死なば諸共。俺の人生もそこまてになる。

桂 地獄行き？ いいじゃねえか？ 何の問題がある？ びびってんのか？

壮二 悲しむ人がいるだろうが！ 困る人がいるだろうが！ お前にだって俺にだって！ 未来がある！ そうじゃなかったのか？

桂 未来？

壮二 広司さんは未来を愛してた！ 違うか？

桂 ……。

真弓 壮司の言う通り！ 広司さんは未来を愛してた！ ここでこいつを殺しても誰も得しない！

壮二 広司さんはお前や俺がブタ箱に入るなんて未来は望んでない。

遠藤 ギャーギャーうるせえな。よくもまあ、あんな男のために騒げもんだ。

桂 あんな男？

真弓 何も知らないくせに偉そうに黒猫さんのことを語らないで！

遠藤 お前らがあいつの何を知ってる？

真弓 黒猫さんがいたから、黒猫さんが未来を愛してたから、今ここに私たちがいる。こうしてあなたを追い詰めてる。

遠藤 未来なんて幻想だ。くだらない。あるのは今だけ。俺を追い詰めてる？ 調子にのんじゃねえよ！

壮二 未来は幻想じゃない。希望だ。お前こそ調子にのんじゃねえよ！ 自分の身勝手にどれだけの人を巻き込むつもりだ！

遠藤 ああ？

中村 遠藤さんがお父さんを殺したんですか？

遠藤の前に中村が立ち塞がる。

遠藤 ああ。

中村 どうして？ 遠藤さんも遠藤さんのお父さんも、昔からずっと。

遠藤 ああそうだ！ 昔からずっと一緒！ だからこそだ！

中村 だからこそ？

遠藤 あの黒猫は俺に懐かなかった。

中村 何ですかそれ？

遠藤 懐かないどころかあいつは俺にこう言ったんだ。「お前はヤクザに向いてない。」「所詮は親の七光」だってなあ。だからわからせてやった。親父の玩具（おもちゃ）をぶっ壊してやった！

中村 それだけで？ それだけのことでお父さんを殺したんですか？

遠藤 思い通りにならない玩具（おもちゃ）は必要ないだろ？ 玩具（おもちゃ）ってのは、思い通りになるから面白いんだ。思い通りにならない幻想（おもちゃ）は俺には必要ない。俺に必要なのは言うことを聞くやつ。俺に利益のあるやつだけだ。

玉城 それが、私？

遠藤 お前次第だ。お前は果たして今でも長靴をはいたネコなのかどうか。

壮二 思い通りにならないなら殺すと？

遠藤 ああ。そうだ。

真弓 違うでしょ？ あなたは黒猫さんの言葉に負けた。黒猫さんの理論に食われた。だから殺すしか方法がなかったんでしょ？

遠藤 俺があいつの言葉に負けた？

中村 私も、殺すんですか？

遠藤 あ？

中村 こうやって思い通りにならなかったら！ 邪魔になったら、私のことも。

芳香が桂の拳銃を拾い遠藤を撃つ。

【銃声】

遠藤 がああああああああああああああああああ！

壮二 何してるんです！ 芳香さん！
芳香 いや、チャンスかなと思わせて。ちょっと外しちゃいました。
遠藤 てめえら。

【パトカーのサイレン】

玉城 パトカー？
中村 どうして？
真弓 こんなこともあるのかと呼んでおいたの。
中村 いつの間に？
真弓 ここに来る前。
遠藤 くそっ！ おい玉城！ 一旦引くぞ。
玉城 う、うん。

玉城、畔上を見る。
畔上、微笑む。
遠藤、玉城、去る。

壮二 待て！

壮二、遠藤を追う。

中村 桂さん、すいません。私のせいで。
桂 (中村に) おい。
中村 ……はい。
桂 こいつを逮捕しろ。
中村 はい。…村上貴子、福田社長殺害容疑で逮捕します。
桂 おい貴子！
文乃 何？
桂 お前の勝ちだな。
文乃 は？ ……何それ。
桂 よお真弓、どうしてパトカーを呼べた？

真弓 え？
桂 予想してたのか？
真弓 ある程度はねー。
桂 どうやって？

【BGM】

真弓 玉城ちゃんと、繋がってたからね。
桂 玉城と？
真弓 そ。
桂 怖え女だ。

【照明…暗転】

○終幕

平井探偵事務所。

【照明…探偵事務所】

芳香、桂、壮二。
芳香が写真を並べている裏で、桂と壮二が揉めている。

芳香 ねえ。真弓さんは？
桂 お前のせいだ！
壮二 いや、お前のせいだ！
芳香 ねえ。真弓さんは？
桂 お前のせいだ！
壮二 お前のせいだ！
芳香 ねえってば！！！

間。

壮二 あの事件以降帰って来ないんだよ。電話も繋がらないし！

芳香 何で？

壮二 こいつがなんかしたんだろ？

桂 する訳ねえしできる訳ねえだろ！ 俺もお前もあれから1週間病院暮らしじゃねえか！

芳香 思い当たることとかないんですか？

壮二 まさか……。いや。

桂 何だ？

壮二 あいつ最近、ずっと健康に気をつけて……。。

桂 それが？

壮二 猫。

桂 猫？

壮二 猫って死期を悟るといつもと違う甘え方や鳴き方をしたりするっていうでしょ？ それで、自分から姿を消すって。

芳香 え？ 嘘でしょ？ それって真弓さんが。

桂 おい。

間。

壮二 探しに行こう。

芳香 まずは警察に捜索願を。

そこに飲むヨーグルトを持った真弓が現れる。

芳香 真弓さん！

壮二 どこ行ってたんだよ！

真弓 あー、ごめんごめん。ちょっとね。てゆうか二人が退院早すぎじゃない？

い？ あの傷でもう出たの？

桂 俺らにしちや遅い方だ。

真弓 まあ確かに。学生時代は一日で無理やり退院してたっけ？

芳香 そんなことはどうでもいいんですよ！ 心配したんですからね！ 真

弓さんが猫みたいに死んじゃうんじゃないかって！

真弓 猫みたいに？

壮二 いい！ その話は！ いい！ もう！ 大丈夫！

真弓 何なに？

壮二 それより、ほら芳香さん！ なんか写真で、ね！ やってたじゃないですか？

真弓 何こんなに写真広げて。

芳香 ちよつと整理してたんですよ！ でも全然わかんないんです！ 複雑すぎませんか？

真弓 世の中の多くのことは、さまざまな要因が重なって起こってる。それこそ「風が吹けば桶屋が儲かる」じゃないけどね。まあだからこそ、AだからBみたいな単純な世界で生きたくなるのもわかるけどね。

芳香 どういうことですか？

真弓 だって、原因と結果が明確な方がラクでしょう？

芳香 まあ、そうですね。

真弓 でも太郎もいいところあるじゃない。

桂 ああ？

真弓 畔上くんのこと助けてあげたんでしょ。

【BGM】

桂 助けたわけじゃない。

真弓 玉城妙を泳がして、畔上くんを犯人に仕立てあげながら、後で畔上くんの冤罪を証明するために、アリバイの方もでっちあげたってわけね。

桂 先生には敵わねえな。

芳香 どういうことですか？ 8月20日に畔上は都内にいたんですよ？ あれ？ でもそうか。畔上は立ちすくむ玉城を見たって。

真弓 私たちは畔上によく似た人物を尾行させられてたの。

芳香 え？ あれ？ 畔上じゃないんですか？

真弓 私は1週間分の彼の資料をもう一度洗い直した。そして本人にも会いに行った。そこで気づいたの。彼には爪を噛む癖がある。マルタイにわかりやすい癖がある場合、私たちはそれを資料に残す。だけど今回それがなかった。マルタイは常に帽子を目深に被っていた。本人として差し出された写真も偽物の写真。本物を知らない私たちはまんまとアリバイ作りに協力してたって

わけ。

芳香 どうしてアリバイを作る必要があったんですか？

桂 後からあいつを釈放するためだ。

芳香 畔上って今何をしてるんですか？

真弓 顔を変えて、また違う人生を歩き始めている。

芳香 (写真を並べ替えて)ちよっと！ これ以上複雑にしないでくださいよ！

桂・壮二 お前もな！

芳香 へ……？ 私ですか？

桂 中村はコウモリだったがお前はモグラだ。うまいこと潜みやがって。

芳香 あれれ？ なんのお話でしょうか？

壮二 さて、芳香さん、聞かせてもらおうかな。真の目的を。

桂 なんの目的で俺たちに近づいたんだ？ 「桂光秀」をどうするつもりだ？

芳香 目的なんて、そんな。

桂、芳香に銃を向ける。

桂 こういう時の俺は本気で撃つぞ？

芳香 嘘でしょ？

壮二 嘘じゃないのは知ってるだろ？

芳香 真弓さ……ん。

真弓 わかったわかった！ わかったから銃下げて。

壮二 真弓が何か知ってるの？

真弓 まあ、知ってるていうか、芳香ちゃんの雇い主は私なの。

壮二・桂 真弓が？

真弓 レノア襲撃事件で殺された鶯堂会のトップ野口聡。芳香ちゃんはその娘さんなの。

壮二・桂 は？

芳香 いや、でも、あれですよ？ 実家継ぐとか、私嫌だったんで！ で！

10年くらい前に鶯堂会から逃げた若造がいる、みたいな噂を聞いて。同じことすれば私も逃げられるかなー、みたいな、そんなアレで？ で真弓さんに辿

り着いたというか。

壮二 どこにでもいそうな顔……。

芳香 私は、結構楽しく生きてますけどね。まあ、考え方次第って感じですよ。

桂 てめえ、だから広司さんと野口をやったのが遠藤と知って、真っ先に銃ぶっ放したのか！

芳香 いやー、あれは、ねえ。反射？ うん。反射ですわね！

真弓 芳香ちゃんが桂光秀に興味あるって言うからさ。私も？ 2人に仲直りして欲しかったし。後輩できると人は丸くなるって言うし。芳香ちゃんに2人と仲良くなってもらったの！

ため息をつく壮二と桂。

壮二 仲直りってなんだよ。

真弓 私はね、私の生きた証を残したいの。

【BGM】

壮二 それってまた子供の話？

真弓 そう。太郎の子でも壮二の子でもいいけど、とにかく私は子供が欲しいの。

壮二 だからつくるのには反対してないだろ？

真弓 二人で仲良く子供育てられる？

壮二 それは無理でしょ？

桂 俺はできる！

芳香 え？ ちょっと待ってください。ん？ おかしいな。今話がグニャッてしました。「太郎の子でも壮二の子でもいい？」ん？ どういうことですか？

真弓さん、何考えてるんですか？

真弓 あれ？ 言ってなかったけ？ うちって一妻二夫制なの。

芳香 イッサイニフ???

真弓 私と太郎と壮二。3人で家族ってこと。

芳香 ちよちよちよつと待ってください？ あれ？ え？

桂 混乱してやがる。

壮二 自然な反応だろ。

芳香 え？ う？ うええ？ あ、それで子どもが、あーでも真弓さんには時間がなくて、だから、二人には、しつかりしてもらわなきゃいけないくて、複雑怪奇？ だから私は、二人のスパイ？ あー！ え？ だから桂さんは壮二さんと真弓さんを離婚させよう？ ちよっと、特殊すぎて、頭がいっぱいです。どっちが正しいとか、もう、わかりません。

桂 どっちが正しいとかじゃねえだろ？ どっちが楽しいかだろ？

真弓 子どもいた方が楽しいでしょう！

芳香 どうして3人はそういう関係に？

真弓 猫探し？ かな。

芳香 猫探し？

壮二 なあ、いい加減教えてくれ。秘密主義にはうんざりだ！

真弓 え？

壮二 芳香さんの件だって、俺たちはスパイをつけられてたってわけだ。気持ちのいいもんじゃない。

真弓 だって。

壮二 こいつのいうことを引用するのは気が引けるけど、いつだって俺たちは、どうにもならないことをどうにかしてきた。そこは信じるよ？ 真弓の

望みは何？ 何を焦ってるの？

真弓 ……。わかった。

壮二 ……。(驚きの表情。)

真弓 何びつくりしてんの？ わかったって言ったんだけど。

壮二 ああ。ああ。そうだな。いや、なんか、否定されると思ってたから。

真弓 言うよ。ちゃんと言う。うん。

間。

壮二 なんだよ。

真弓 緊張するんだって！

間。

真弓 私ね、余命があと「20年」なの。
芳香 真弓さん。(真弓を見る。)
壮二・桂 「20年」……。

そこに玉城が現れる。

真弓 あれ？ どうして？

桂 玉城じゃねえか。

玉城 ごめんなさい。ここが一番信用できると思って。

壮二 なんです？

玉城 遠藤さんから逃げてきたんです。

桂 そりゃあ、面白そうな話だな。

真弓 面白くはないけど、詳しく聞かせてもらえる？

桂 中村も仲間に入れてやろう。

壮二 はあ？

桂 あいつは見込みあるぞ？

壮二 殺されそうになっておいてよく言う。

桂 だからこそだよ。

【BGM】

芳香 これは、「桂光秀」再結成ってことでいいんですかね？
壮二 さあ、どうですかね。

【照明・暗転】

幕